



# 平成24年度

## 重点地区活動実績

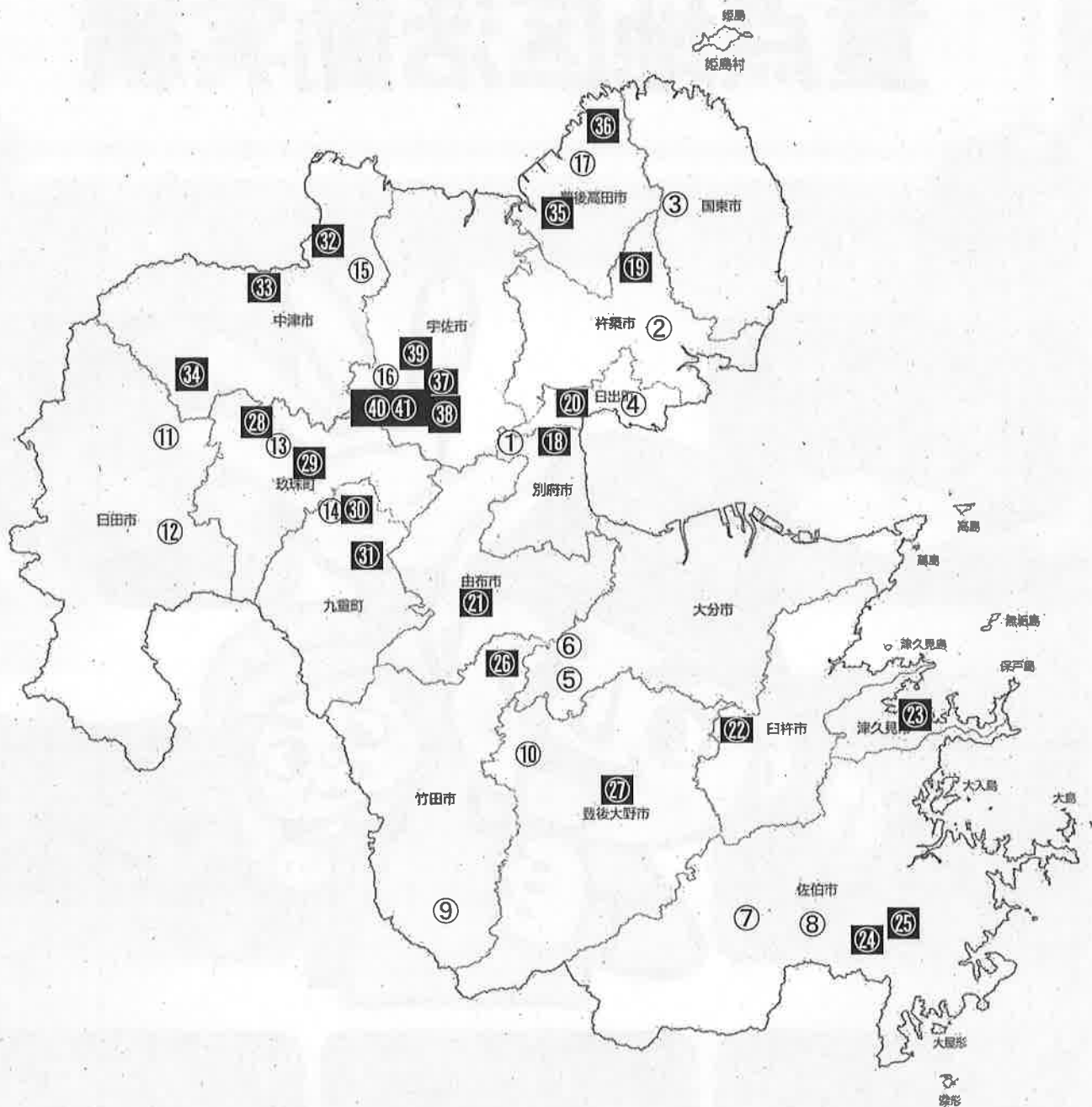


大分県鳥獣被害対策本部

# 重点地区位置図

(H25.3.27現在)

平成23年度指定： ①～⑬ 17か所  
平成24年度指定： ⑭～⑳ 24か所



大分県鳥獣被害現地対策本部選定重点地区一覧

H25.3.1 現在

年度	H23～			H24～		
局	番号	重点地区名	戸数	番号	重点地区名	戸数
東部	①	別府市 <sup>あまま</sup> 天間地区	52	⑱	別府市 <sup>うちかまど</sup> 内竈地区	32
	②	杵築市 <sup>おおかもがわ</sup> 大鴨川地区	24	⑲	杵築市 <sup>いしまる</sup> 石丸地区	70
	③	国東市 <sup>はた</sup> 国見町畑地区	10	⑳	日出町 <sup>ほっけじ</sup> 法花寺地区	44
	④	日出町 <sup>なかやま</sup> 中山地区	14			
中部	⑤	大分市 <sup>かみづめ</sup> 野津原町上詰地区	44	㉑	由布市 <sup>こうの</sup> 湯布院町幸野地区	21
	⑥	大分市 <sup>たまりみず</sup> 野津原町湛水地区	22	㉒	臼杵市 <sup>ひらの</sup> 野津町平野地区	18
				㉓	津久見市 <sup>ちぬ</sup> 千怒地区	100
南部	⑦	佐伯市 <sup>よこがわ</sup> 直川横川地区	12	㉔	佐伯市 <sup>くろさわ</sup> 黒沢地区	14
	⑧	佐伯市 <sup>おおこえ</sup> 大越地区	27	㉕	佐伯市 <sup>いちぶせ</sup> 市福所地区	26
豊肥	⑨	竹田市 <sup>なかつの</sup> 中角地区	16	㉖	竹田市 <sup>かじや</sup> 直入町櫛屋地区	101
	⑩	豊後大野市 <sup>きたひら</sup> 朝地町北平地区	37	㉗	豊後大野市 <sup>なかの</sup> 清川町中野地区	14
西部	⑪	日田市 <sup>くまのお</sup> 熊ノ尾地区	20	㉘	玖珠町 <sup>くらがとう</sup> 倉ヶ峠地区	5
	⑫	日田市 <sup>ほんじょう</sup> 天瀬町本城地区	10	㉙	玖珠町 <sup>こぼ</sup> 小場地区	8
	⑬	玖珠町 <sup>ながのお</sup> 長小野地区	18	⑳	九重町 <sup>かきのきばる</sup> 柿ノ木原地区	13
	⑭	九重町 <sup>なかす</sup> 中須地区	14	㉑	九重町 <sup>たしる</sup> 田代地区	10
北部	⑮	中津市 <sup>かみひこうす</sup> 三光上深水地区	19	㉒	中津市 <sup>おびくる</sup> 三光小袋地区	51
	⑯	宇佐市 <sup>みやばる</sup> 院内町宮原地区	13	㉓	中津市 <sup>かみふくち</sup> 耶馬溪町上福土地区	14
	⑰	豊後高田市 <sup>はた</sup> 畑地区	31	㉔	中津市 <sup>くらたに</sup> 山国町倉谷地区	7
				㉕	豊後高田市 <sup>くなわくまぼやし</sup> 来縄雲林地区	27
				㉖	豊後高田市 <sup>かみかがち</sup> 上香々地	10
				㉗	宇佐市 <sup>のうじ</sup> 院内町納持地区	23
				㉘	宇佐市 <sup>さいとう</sup> 院内町斉藤地区	22
				㉙	宇佐市 <sup>りょうかい</sup> 院内町了戒地区	25
				㉚	宇佐市 <sup>つきのまたしも</sup> 院内町月俣下地区	16
				㉛	宇佐市 <sup>つきのまたかみ</sup> 院内町月俣上地区	17
年度合計	17か所			24か所		
総計	41か所					

# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成23年度重点地区指定

①別府市天間地区	加害獣	イノシシ、シカ	戸数	52	農家戸数	42	耕地面積	23ha	作目	米
	集落営農	無	狩猟者	1	環境対策	○	被害の推移	減	柵設置	有
	予防対策									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H18中山間地域等直接支払交付金(金網柵7,500m)</li> <li>・H18中自ら取り組む鳥獣被害対策事業(金網柵1,000m)</li> <li>・H23中山間地域等直接支払交付金(金網柵1,500m)</li> <li>・H24鳥獣被害防止総合対策交付金(シカネット7,700m)</li> </ul>									
	捕獲対策									

・狩猟免許取得者(わな、銃)1名

集落環境対策

・ヤブの刈り払い

	実 績	
	8月23日	第1回PT現地調査 ・取り組み状況、情報交換
	9月19日	第2回PT現地調査 ・被害状況の確認
	10月25日	獣害対策研修会 地元14人出席 ・対策について木村広域の講話 ・現地の被害状況と対策を確認
10月30日		シカネット設置研修
11月～		シカネット設置
12月19日		竹田市からの視察受入
2月14日		竹田市からの視察受入
2月27日		第3回PT意見交換会 ・今年度の取り組みのまとめ ・今後の対策について協議


### 集落住民の声



- ・防護柵を設置したことで安心し、見回りを怠ったため収穫前に被害にあってしまった。定期的な点検と住民の協力の重要性を強く認識した。
- ・獣害対策研修会に参加した女性から、「イノシシの習性と対策方法がわかり勉強できた。生産意欲がなくなっていたが来年も頑張って米を作りたい。」と喜びの声があった。今後も勉強会を続けていきたい。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成23年度重点地区指定

②杵築市大鴨川地区	加害獣	イノシシ、シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			24	24	12ha	米	
	集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置		
	無	1	○	減	有		
	予防対策						
	・H22有害鳥獣被害防止対策事業(市単独) (ワイヤメッシュ柵4,000m)						
捕獲対策							
・狩猟免許取得者(わな)1名							
集落環境対策							
・ヤブの刈り払い、除草剤散布							

	実 績	
	8月29日	第1回PT現地調査 ・「重点地区」の内容説明 ・被害対策について聞き取り ・市+県+住民でワイヤメッシュ柵の設置状況見回り ・ワイヤメッシュ柵の折り返し施工の工夫に取組んでいた。 ・近隣区域の箱わなにイノシシ親子が捕獲されていた。
	9月27日	第2回PT現地調査 ・鳥獣害対策について、現地調査及び意見交換
	2月28日	集落意見交換会 ・被害点検マップの提示 ・今後の取組等について意見交換

**集落住民の声**



- ・防護柵の維持管理は、集落住民により周囲の刈り払いや除草剤散布を定期的に行っている。
- ・ワイヤメッシュ柵の折り返し施工により、市道からイノシシ等の侵入もなく、被害防止が図られている。
- ・景観を配慮するため、柵設置は繁雑であったが、なるべく裏山の林内に設置したので住環境は快適である。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

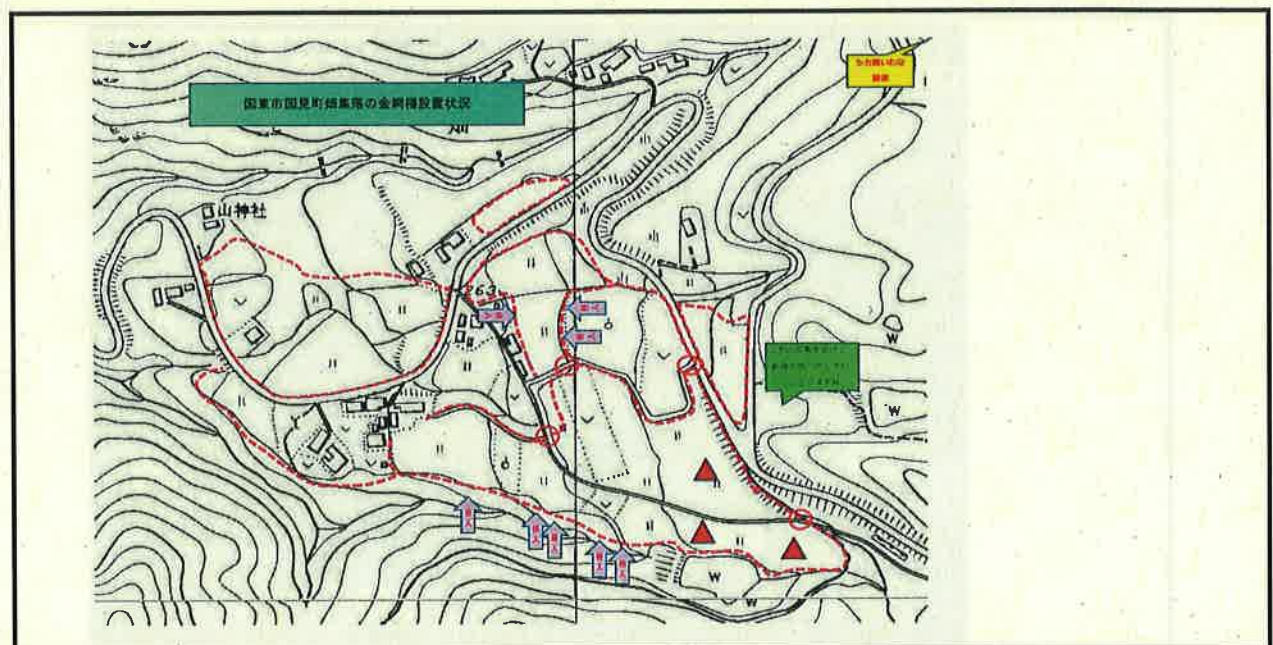
平成23年度重点地区指定

③国東市畑地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目
			10	2戸(専業)	4ha	水稻、カボス、椎茸
			集落営農有	狩猟者2名	環境対策○	被害の推移(減)
			柵設置有			
<b>予防対策</b> ・H23鳥獣被害防止総合対策事業(金網柵2, 700m) ・H24シカ対策に柵の上部に有刺鉄線1, 500m						
<b>捕獲対策</b> ・囲いわなの設置 ・H23年度に、1名が新たにわな免許を取得し、くくりわなの設置						
<b>集落環境対策</b> ・ヤブの刈り払い						

 	<b>実 績</b>																						
	4月	集落総会 ・H23イノシシ・シカ対策の実績 ・H24獣害対策計画の協議																					
5月23日	有刺鉄線設置作業(共同作業) フェンス点検 9名参加																						
7月21日	ヤブの刈り払い フェンス点検 7名参加 以降は2名1組で随時点検																						
10月30日	被害状況聞き取り																						
12月7日	被害状況聞き取り、視察受入																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="3">大型囲いわな捕獲実績</th> </tr> <tr> <th></th> <th>イノシシ</th> <th>シカ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>7頭</td> <td>7頭</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>0頭</td> <td>3頭</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="3">くくりわな捕獲実績</th> </tr> <tr> <th></th> <th>イノシシ</th> <th>シカ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>11頭</td> <td>32頭</td> </tr> </tbody> </table>			大型囲いわな捕獲実績				イノシシ	シカ	H23	7頭	7頭	H24	0頭	3頭	くくりわな捕獲実績				イノシシ	シカ	H24	11頭	32頭
大型囲いわな捕獲実績																							
	イノシシ	シカ																					
H23	7頭	7頭																					
H24	0頭	3頭																					
くくりわな捕獲実績																							
	イノシシ	シカ																					
H24	11頭	32頭																					

## 集落住民の声

- ・今年は水稻の被害がなかった。
- ・被害を軽減できたのは、柵設置と捕獲対策の効果だと思う。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

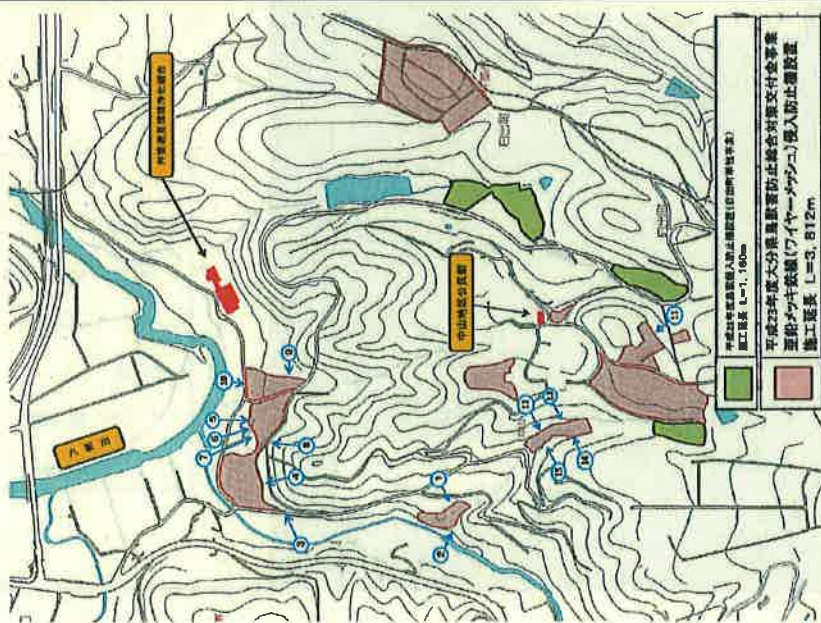
平成23年度重点地区指定

④日出町中山地区	加害獣	イノシシ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			14	10	15ha	水稻、ミカン、ギンナン	
			集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置
			無	3名	○	無	有
			予防対策				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・H21イノシシ被害防止集落対策事業(町単独、金網1, 160m)</li> <li>・H23鳥獣被害防止総合対策事業(鉄線柵3, 812m)</li> </ul>							
捕獲対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・H22年度に、1名が新たにわな免許を取得</li> </ul>							
集落環境対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤブの刈り払い</li> </ul>							

 <p>PT第1回</p>	実 績	
	8月30日	<b>第1回PT現地調査</b> ・取組みの聞き取り ・情報交換
	10月5日	<b>第2回PT現地調査</b> ・状況見回り ・イノシシ・シカの侵入箇所……0箇所 ・地域住民からの聞き取り
	12月7日	竹田市からの視察受入
 <p>PT第2回</p>	1月23日	九重町からの視察受入
	3月8日	<b>第3回PT現地調査(予定)</b> ・今後の取組等について意見交換

## 集落住民の声



- ・点検、見回り等集落ぐるみで行動している。おかげで、被害は全くなく、みかん、ぎんなん、稲作等の生産意欲が出てきている。
- ・しかし、隣接地の赤松地区に生息域が移動し、この地区の被害が増加している。
- ・集落内の鳥獣害に対する意識や知識の向上が図られている。



現在、イノシシの侵入は増えていますが、イノシシ(特にイノシシの子供)が入りやすいところがあります(青色数字で示したところ)ので、早急に修繕しておく必要があります。

# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

⑤大分市上詰地区	加害獣	イノシシ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			44	29	16.5	米	
			集落営農有	狩猟者4	環境対策整備中	被害の推移	柵設置
						激減	H23
			予防対策		・ワイヤーメッシュ柵、金網柵の設置(メッシュ柵8,445m 金網柵2,800m 大分県鳥獣被害防止総合対策交付金事業) ・柵の点検活動		
			捕獲対策		・H24年度に狩猟免許の取得推進(わな猟狩猟免許)をおこない狩猟免許を集落住民2名が取得する		
			集落環境対策		・定期的な集落点検の実施 ・自力の侵入防護柵設置の設置 ・箇所周辺の定期的な刈払いの実施(1回/3ヶ月) ・有害鳥獣に関する勉強会・イノシシの行動調査		

	集落点検活動	実 績	
		9/4 集落点検・柵設置箇所現況調査の実施	9/6 暗視カメラによる集落に進入するイノシシの行動調査の実施
	イノシシの行動調査	9/14 暗視カメラの回収と確認さらに柵の補強と検討会の開催	10/30 集落点検・柵設置箇所現況調査の実施
		1/8 イノシシの行動調査と侵入防止柵の効果の検討会の開催	

**集落住民の声**

- ・集落点検により防護効果の高い柵の設置について関心が高まった。
- ・狩猟免許の取得により集落全体で予防から捕獲対策への認識が高まった。(来年度も2名 わな猟狩猟免許)
- ・集落全体で被害防止についての認識が高まり、事前の周辺部の刈払いや設置後の管理について、前向きな意見が出るようになった。
- ・ワイヤーメッシュ柵や金網柵の設置箇所の長期間の管理のためイノシシ等の侵入の危険性のある箇所にコンクリートの打設を行い管理の徹底を図った。







# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成23年度重点地区指定

⑥大分市湛水地区	加害獣	イノシシ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			22	17	18	米	
			集落営農 無	狩猟者 2	環境対策 整備中	被害の推移 激減	柵設置 H23
			予防対策				
			・ワイヤーメッシュ柵の設置 (延長5,000m 大分県鳥獣被害防止総合対策交付金事業) ・柵の点検活動				
捕獲対策							
・狩猟免許(わな)取得者が狩猟活動の再開							
集落環境対策							
・柵設置箇所周辺の刈り払い(1回/3ヶ月) ・柵張りの補強点検 ・電柵の有害鳥獣に関する研修会							

 <p>シーリングネットによるワイヤーメッシュ柵の嵩上げ状況</p>	<p>9/4 集落点検・柵設置箇所現況調査の実施</p> <p>9/14 柵嵩上げ補強現況調査の実施</p> <p>9/15 電柵設置補強と柵設置検討会の開催</p> <p>10/30 集落点検・柵設置箇所現況調査の実施</p>
 <p>電圧確認と集落点検の様子</p>	

**集落住民の声**



- ・集落点検により柵の補強と防護効果の高い柵の設置について関心が高まった。
- ・予防対策が完備したため捕獲対策への認識が高まった。(来年度に1名 わな猟狩猟免許の資格受験に努める)
- ・集落全体で被害防止についての認識が高まり、事前の周辺部の刈り払いや設置後の管理について、前向きな意見が出るようになった。
- ・ワイヤーメッシュ柵の設置箇所の地形上、イノシシ等の侵入経路が多岐にわたるため補強と嵩上げ工事を行い管理の徹底を図ったため被害を認める事が出来なかった。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

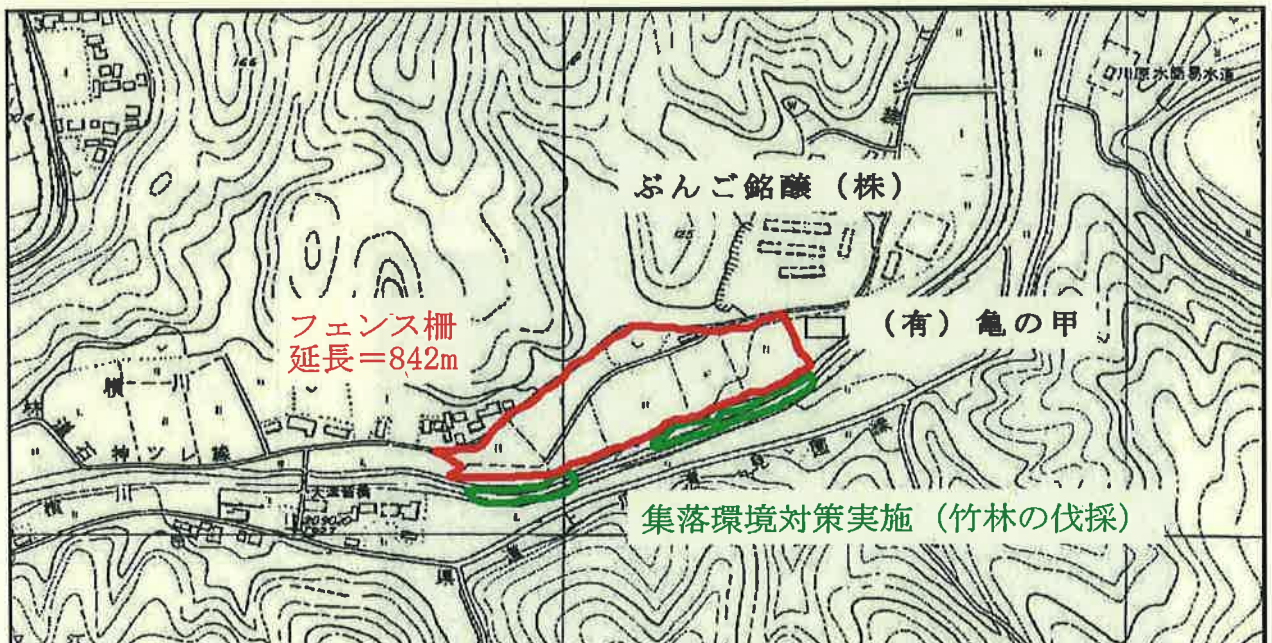
⑦佐伯市直川横川地区	加害獣	イノシシ・シカ・カラス・アナグマ・スズメ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			12	12	2.45	水稻、飼料作物、野菜	
			集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置
			無	4名	実施	減	H23
			予防対策				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交付金事業によるフェンス柵の設置(842m)</li> <li>・地元住民が管理組合を新たに結成し管理を行う。</li> </ul>							
捕獲対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元狩猟者と捕獲ボランティア隊で当地区の重点捕獲を実施。</li> </ul>							
H24年度イノシシ:2頭							
H24年度シカ :43頭							
集落環境対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地の草刈り。</li> <li>・雑木の伐採。</li> </ul>							



		実 績	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年6月20日 第1回集落会議開催(4名参加)</li> <li>・平成24年10月29日 第2回集落会議開催(4名参加)</li> <li>・平成24年3月22日 第3回集落会議開催予定</li> <li>・平成24年6月20日 第1回集落点検実施(4名参加)</li> <li>・平成24年8月23日 第2回集落点検実施(4名参加)</li> <li>・平成24年10月29日 第3回集落点検実施(4名参加)</li> <li>・平成24年12月18日 第4回集落点検実施(4名参加)</li> </ul>	



## 集落住民の声

- ・柵の設置については、地元の人間が少ないのと高齢化で作業は大変だったが小規模集落応援隊の手伝いもあり助かった。
- ・河川沿いの竹林については今まで管理していなかったが、今後は地区住民で管理していきたい。



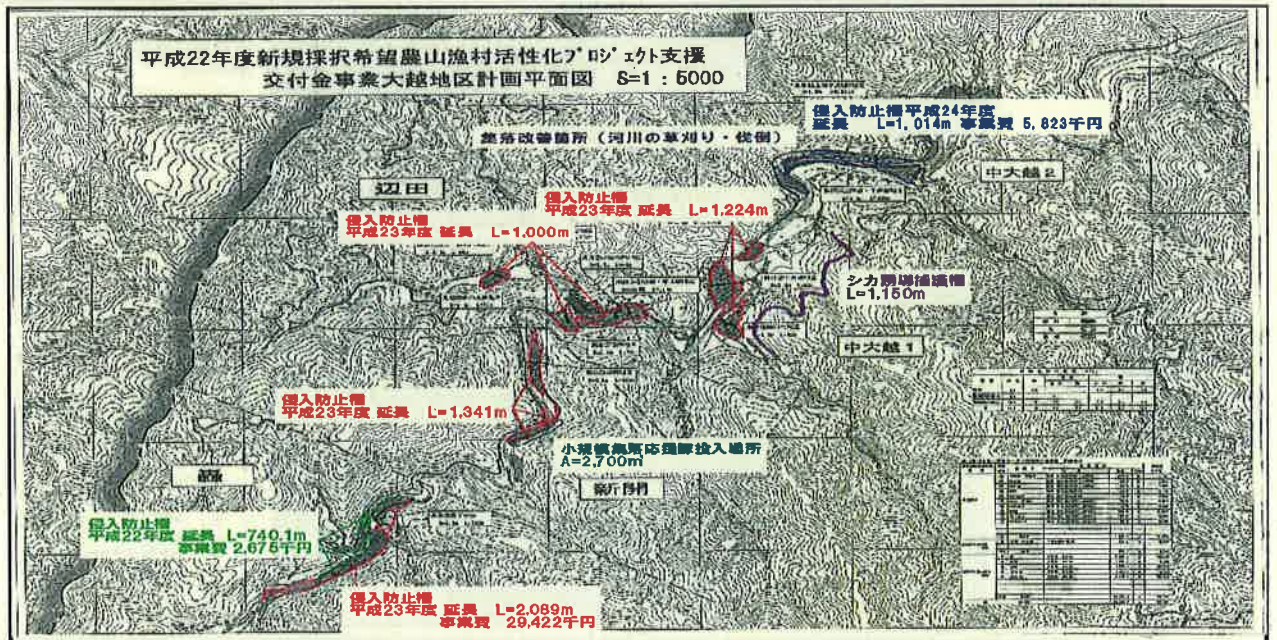
# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

⑧佐伯市大越地区 	加害獣	イノシシ・シカ・カラス・アナグマ・スズメ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			27	27	14	水稲、飼料作物、野菜	
			集落営農有	狩猟者5名	環境対策実施	被害の推移大幅減	柵設置 H22~H25
			予防対策	・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業によるフェンス柵の設置 ・H22年度: 740m ・H23年度: 5,654m ・H24年度: 1,014m    ・H25年度: 3,800m(予定)			
			捕獲対策	・シカ誘導捕獲モデル事業に伴うネット柵設置(1,150m) H24年度イノシシ: 11頭 H24年度シカ : 63頭(内7頭を誘導柵で捕獲)			
		集落環境対策	・地区内の耕作放棄地の草刈り。 ・小規模集落応援隊との協力を得て緩衝帯の草刈り。				

		実 績
		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年5月11日 第1回集落会議開催(7名参加)</li> <li>平成25年3月22日 第2回集落会議開催予定</li> <li>平成24年5月11日 第1回集落点検実施(8名参加)</li> <li>平成24年8月23日 第2回集落点検実施(5名参加)</li> <li>平成24年10月29日 第3回集落点検実施(5名参加)</li> <li>平成24年12月17日 第4回集落点検実施(5名参加)</li> </ul>


**集落住民の声**



- ・集落環境改善に取り組む体制が整い住民の自主的な動きがでてきたが、作業する人が少ないうえに、高齢化している。共有地は応援隊の手伝いで何とかできるが、個人所有の田畑の放棄地の草刈りとなると要請できない。
- ・河川内の芦など草刈りを要望しているが、土木事務所では予算がないと言われる。地元で行いたいのが許可を取らないと出来ない。柔軟な対応が出来ないか？



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

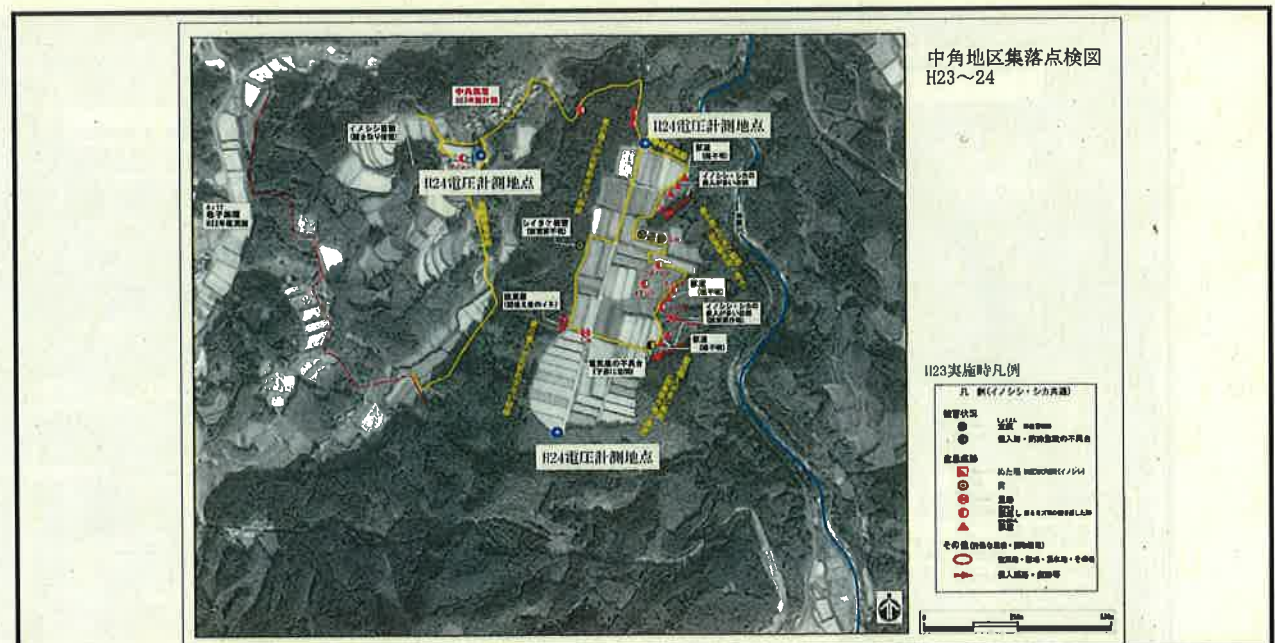
平成23年度重点地区指定

⑨竹田市中角地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			16	16	26.7ha	米、ピーマン	
			集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置
			無	4	実施	被害無	H23
			予防対策				
			・イノシシ・シカ用の電柵をH23年度に設置(8,700m) H24年度は一年中通電を実施				
			捕獲対策				
			・集落内の狩猟者による捕獲				
			集落環境対策				
			・ヤブの刈払い				

	実 績	
	5月29日	集落点検及び現地確認 23年度末の勉強会で木村主幹から指導のあった「一年中、一日中電流を流す」ことを再度確認 電圧6.8V程度
	6月14日	現地確認 電圧の確認(7V) ヤブの刈払いの実施
	11月27日	3地区合同研修会 中角地区と同様に、電気柵を設置した高森町 芹口地区において現地視察を行った 草刈り労力削減のための防草シートの効果について情報交換を行った ※高価であり、設置に労力がかかるため、 中角地区では設置は見送った


## 集落住民の声



- ・一年中電気柵に通電することによって、被害がほぼゼロになった。
- ・露による漏電があるため、草刈りを徹底する。今後も通電を維持し、柵の管理をしっかりやっていきたい。
- ・サルは今年は見かけなかった。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成23年度重点地区指定

⑩豊後大野市北平地区	加害獣	イノシシ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			37	30	13	米	
	集落営農有	狩猟者無	環境対策実施	被害の推移	柵設置		
				やや減	H23		
	予防対策						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>金網柵 (H23設置) の管理及び補修</li> </ul>						
捕獲対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>集落外の狩猟者による捕獲</li> </ul>							
集落環境対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>金網柵周辺のヤブの刈払い</li> </ul>							


	実 績	
	4月18日	現地確認及び聞き取り 金網柵周辺の草刈り・ヤブの刈払いを徹底することを確認
	5月下旬	ヤブの刈払い
	11月15日	集落点検の実施 集落内で、特に奥まって人気のない箇所と川沿いの柵が数か所破られているのを確認 電気柵用ポール等で修復
	12月5日	勉強会の実施 金網柵の補修と管理について説明
	2月中旬	侵入経路の川辺のヤブの刈払い



<p>集落住民の声</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柵を破られた箇所もあるが、去年よりは被害は減った。</li> <li>飛び地になっている箇所は、草刈りをしたら被害はゼロになった</li> <li>今後は柵の管理・補修を行い、必要であれば電気柵と併用しながら頑張っていきたい。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



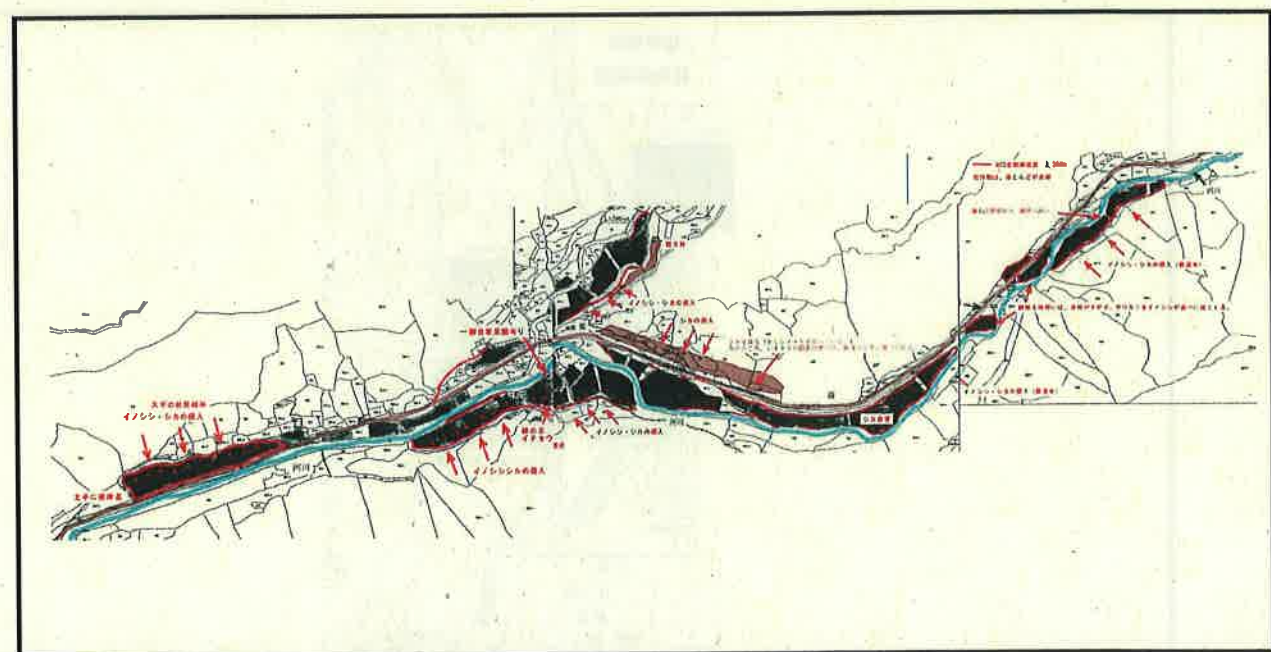
# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成23年度重点地区指定

⑪日田市熊ノ尾地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目
			20	20	6.83	水稻
	集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置	
	有	5名	実施	減少	H23設置	
	予防対策					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の交付金を活用し、金網柵を設置。</li> <li>・金網柵の管理方法等の研修会を実施。</li> <li>・花火での追い払い活動</li> </ul>					
捕獲対策						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱わなの設置場所等の研修会、狩猟免許試験の周知を行い、取得促進。</li> </ul>						
集落環境対策						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・金網柵の設置場所の草刈り及び周囲の不用木等の除去を実施。</li> </ul>						

	実 績	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24. 4. 26柵の点検</li> <li>・H24. 6. 5シカ等の出没状況の確認及び柵の点検</li> <li>・H24. 6. 6集落全員が地元であったアドバイザー研修会に参加した。</li> <li>・H24. 7. 3 豪雨により、柵451mが流出した。</li> <li>・H24. 7. 5復旧対策について、代表者と協議。</li> <li>・H23. 7. 13わな免許の取得を文書で依頼。</li> <li>・H24年度 わな猟狩猟免許新規取得者 2名。</li> </ul>	
		

**集落住民の声**  
 当該地区は、中山間地域であるため、イノシシもシカも出没し、両方の被害があったが、金網柵を設置して被害が減ることを期待していた。豪雨により柵の一部が流出した。今後、水田の復旧と併せて柵を復旧する。重点地区に指定されていたが、被害に遭い非常に残念である。





# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成23年度重点地区指定

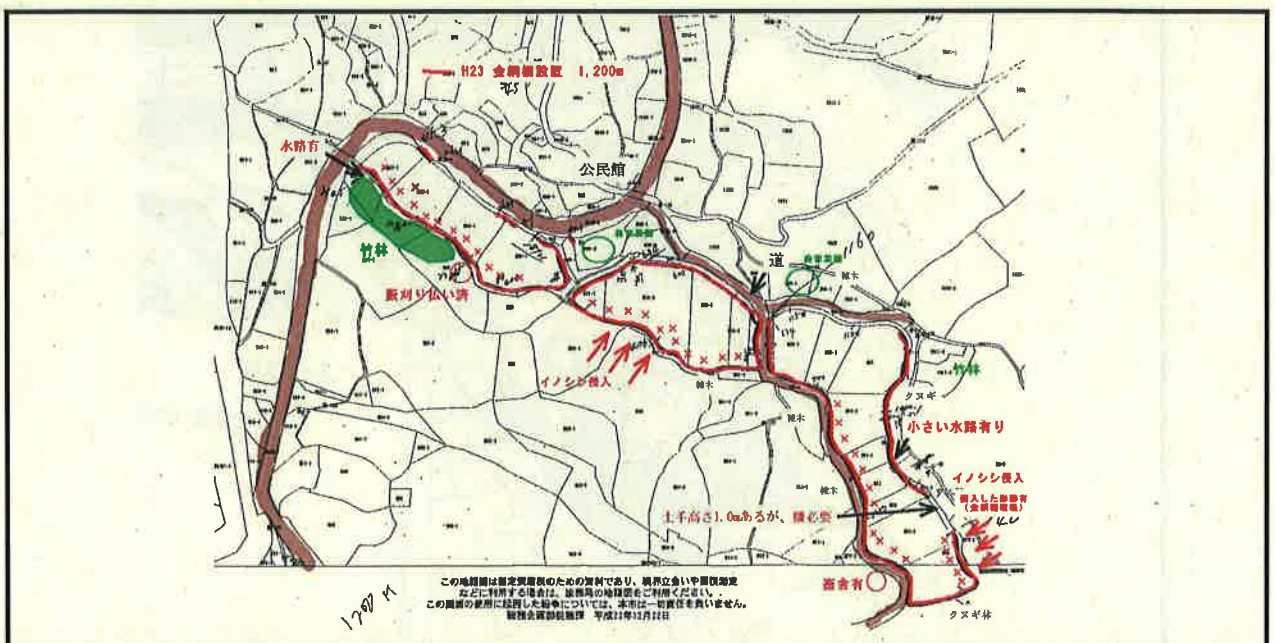
⑫日田市本城地区	加害獣	イノシシ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			10	10	2	水稻	
			集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置
			無	1	実施	大幅に減少	H23設置
			予防対策				
<ul style="list-style-type: none"> <li>国の交付金を活用し、金網柵を設置。</li> <li>金網柵の管理方法等の研修会を実施。</li> </ul>							
捕獲対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>箱わなの設置場所等の研修会、狩猟免許試験の周知を行い、取得促進。</li> </ul>							
集落環境対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>金網柵の設置場所の草刈り及び周囲の不用木等の除去を実施。</li> </ul>							



		実績
		<ul style="list-style-type: none"> <li>H24. 4イノシシで破られた柵の補修をした。</li> <li>H24. 5柵の地面に持ち上げ防止の鉄棒を設置した。</li> <li>H24. 6. 5柵の点検及びイノシシの出没状況の確認</li> <li>H24. 6. 6のアドバイザー研修会に代表者が参加</li> <li>H24. 7. 5豪雨による被害の確認調査を実施。樹木が柵に倒れたが被害はなかった。</li> <li>H24. 7~8柵周辺の草刈り実施</li> <li>H24. 12. 13柵の点検指導</li> </ul>

## 集落住民の声



H24. 2月に柵が破られたので、補修を行った。道路沿いからイノシシが柵を持ち上げて中に入ろうとするので、鉄棒で対策を行った。去年は2回ほどイノシシが侵入したが、被害は柵を設置していなかった年度の1割程度しかなく大変よかった。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

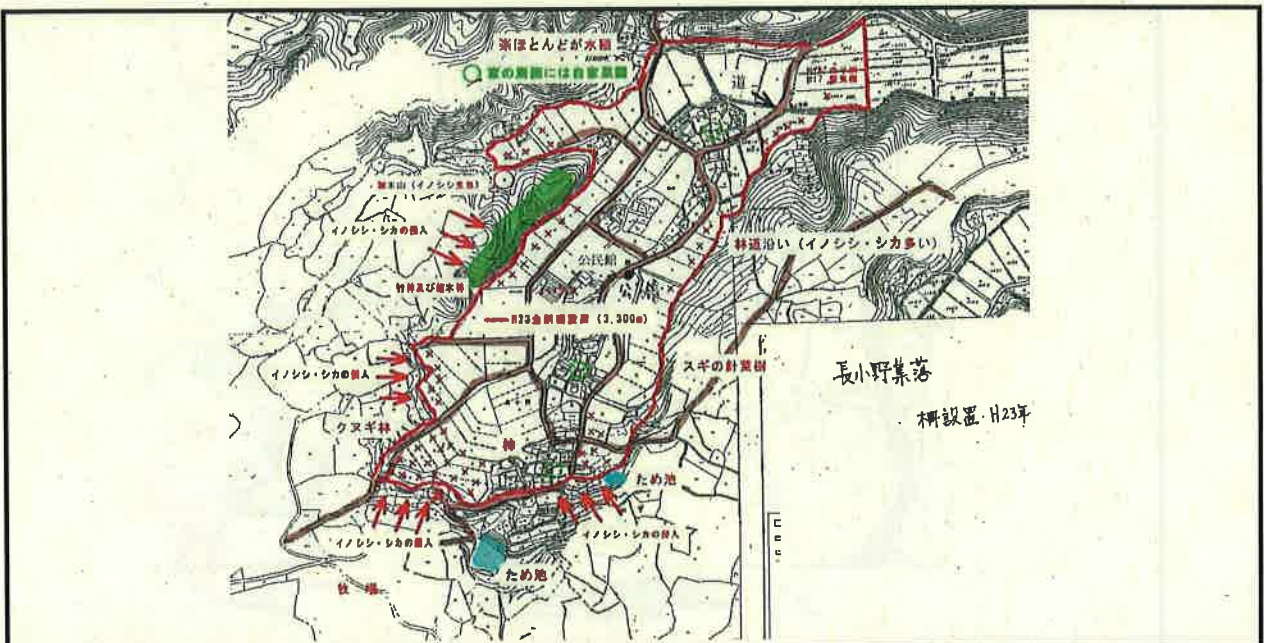
平成23年度重点地区指定

⑬玖珠町長小野地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目
			18	18	12.1	水稻
	集落営農有	狩猟者1名	環境対策実施	被害の推移大幅に減少	柵設置H23設置	
	予防対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H17年度 電気柵の設置。</li> <li>・国の交付金を活用し、金網柵を設置。</li> <li>・金網柵の管理方法等の研修会を実施。</li> </ul>				
	捕獲対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱わなの設置場所等の研修会、狩猟免許試験の周知を行い、取得促進。</li> </ul>				
	集落環境対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金網柵の設置場所の草刈り及び周囲の不用木等の除去を実施。</li> </ul>				

		実 績	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24. 6. 4シカ等出没状況の確認及び柵の点検を実施</li> <li>・H24. 6. 6集落の代表がアドバイザー研修会に参加</li> <li>・H24. 7. 4豪雨被害調査 柵50mが被害を受けるが自力で復旧した。</li> <li>・H24. 7. 13わな免許の取得を文書で依頼</li> <li>・H24. 7～8月柵周辺の草刈り実施</li> <li>・H24. 10. 2柵の点検</li> <li>・H24. 11. 9副知事点検及び意見交換会</li> <li>・H25. 1. 21柵の点検</li> <li>・H25. 2柵100mを設置残り100mは3月に終了予定</li> </ul>	

## 集落住民の声

平成23年度に金網柵3, 200mを設置して、被害が大幅に減少した。まだ、一部柵で囲っていない部分があるので、中山間の直接支払い制度を活用して、集落を囲んでしまう。





# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

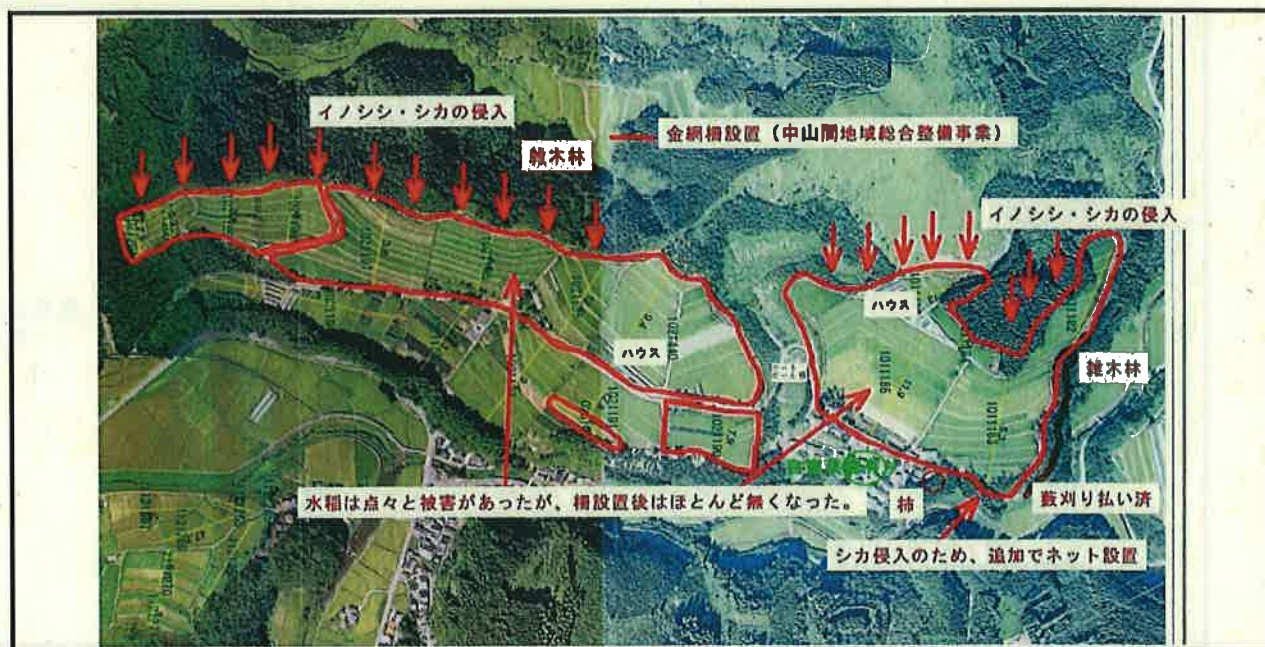
平成23年度重点地区指定

⑭九重町中須地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			14	14	12.5	水稻、飼料作物	
			集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置
			有	2名	実施	無	H17～H18
			予防対策				
捕獲対策					<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱わなの設置場所等の研修会、狩猟免許試験の周知を行い、取得促進。</li> </ul>		
集落環境対策					<ul style="list-style-type: none"> <li>・金網柵の設置場所の草刈り及び周囲の不用木等の除去を実施。</li> </ul>		



		実 績	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24. 6. 4シカ等の出没状況の確認及び柵の点検活動</li> <li>・H24. 6. 6アドバイザー研修会に集落の代表者が参加</li> <li>・H24. 7. 13わな免許の取得を文書で依頼</li> <li>・H24. 7～8柵周辺の草刈り</li> <li>・H24. 10. 2柵の点検活動</li> <li>・H25. 1. 21柵の点検活動</li> <li>・H25. 2. 3及び10日 シカ用のネットH2. 5mを1, 500m追加実施。残りは500mとなった。(直接支払いを活用)</li> </ul>	


**集落住民の声**  
 金網柵を設置する前は、イノシシ被害のみであった。その後、シカが金網柵を飛び越えて、水田に入るようになり、被害が発生した。振興局に相談したところ、シカネットを上部に設置するよう指導を受け、周囲5kmを年次計画でH2. 5mのネットを張っている。H24年度で4, 500mが終了した。昨年は獣害被害はなかった。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

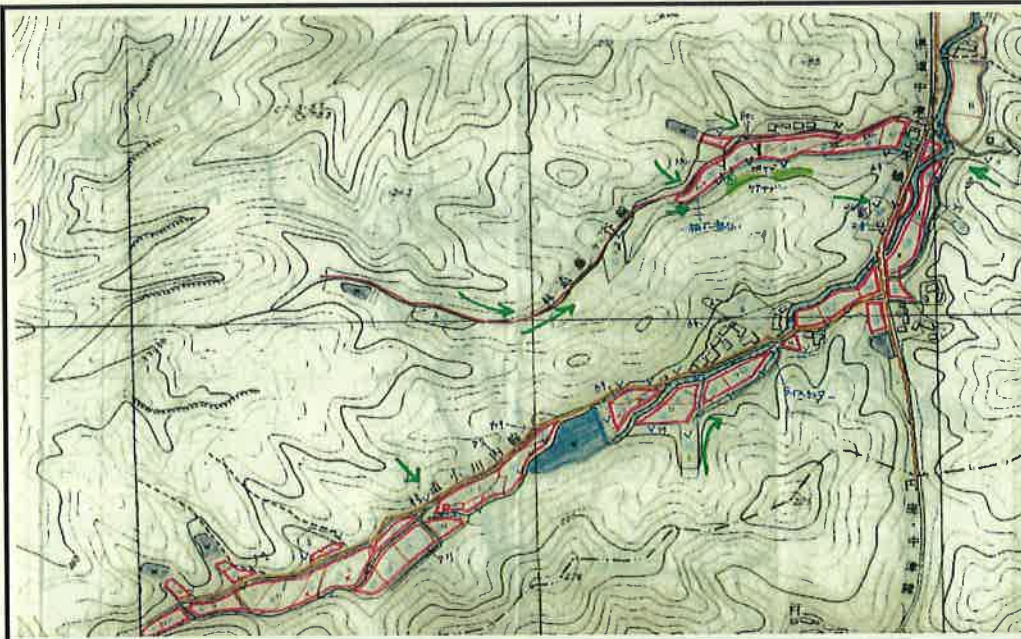
平成23年度重点地区指定

⑬中津市上深水地区	加害獣	イノシシ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			19	18	13	米、小麦、大豆、飼料米等	
			集落営農有	狩猟者2名	環境対策実施	被害の推移	柵設置
			予防対策			減	H21
			集落周辺部はほぼ金網柵等の鳥獣被害防止対策を実施済み。専門員から現地指導をいただいている。				
捕獲対策							
集落には狩猟者が2名しかいないため、新たな狩猟者の確保と、計画的な有害鳥獣捕獲が必要。							
集落環境対策							
集落営農組織により、協働で環境整備を実施する。							

 <p>普及指導員による鳥獣害対策研修会</p>	<p>実績</p> <p>H24. 9. 4 防護柵の補強</p> <p>H24. 9. 5 現地調査</p> <p>H24. 9. 11 現地調査</p> <p>H24. 9. 20 現地検討会</p> <p>H24. 11. 9 普及員による研修会</p>

## 集落住民の声

- ・研修会では鳥獣害のことをいろいろ勉強できた
- ・行政の協力を仰ぎながら、みんなでできることをやっていく必要がある。



集落点検地図  
(一部抜粋)

# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成23年度重点地区指定

⑬宇佐市宮原地区	加害獣	イノシシ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目		
			13	8	5.74	米、ゆず		
			集落営農 有	狩猟者 1名(わな)	環境対策 実施	被害の推移 減	柵設置 H19	
			予防対策					
			鳥獣害対策として、ネット柵や電柵を設置している。被害が出ればすぐに対応できる体制ができている。今後、ネット柵を追加し予防対策を補完する計画である。					
捕獲対策								
集落には狩猟者が1名(ワナ猟)だけで、捕獲体制としては不十分である。有害鳥獣捕獲等の計画的実施を進める必要がある。								
集落環境対策								
ゴミ等については、獣害対策として小屋を作り分別収集を行っている。「ひこばえ」についてもすき込むなどの対策を実施している。								



井上雅央先生を招き  
現地対策を点検した

鳥獣害対策に関する  
研修会の実施

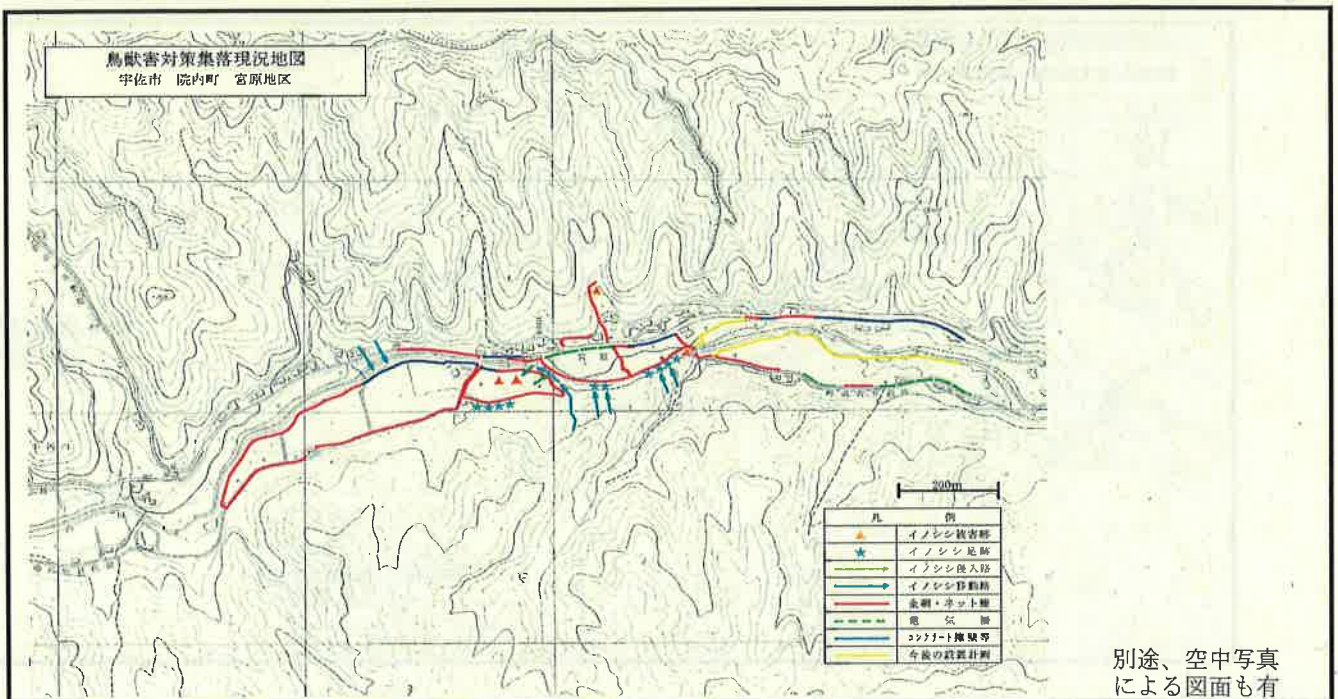


## 実 績

- H24. 5. 10 院内地区まちづくり協議会参加  
鳥獣害対策について説明
- H24. 6. 7 大分県鳥獣害対策アドバイザー研修会実施
- H24. 11. 6 院内地区まちづくり協議会参加  
ヒコバエ対策チラシ配布
- H24. 11. 15 鳥獣被害防止対策現地研修会  
鳥獣の特徴講演・集落点検マップ確認

## 集落住民の声

- ・鳥獣害対策は地域の重要な課題
- ・できる人間で対応しているが限界がある
- ・鳥獣害対策の補完が必要なので補助等の措置をお願いしたい。

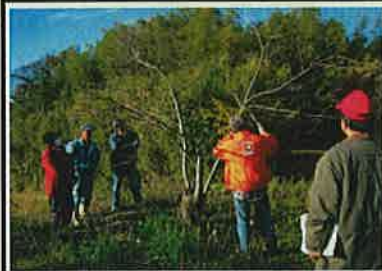


別途、空中写真  
による図面も有

# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成23年度重点地区指定

⑰豊後高田市畑地区	加害獣	イノシシ、シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目		
			31	21	17.7	米、そば、小麦		
			集落営農有	狩猟者1	環境対策実施	被害の推移減	柵設置H21	
			予防対策					
			鳥獣害対策として、ネット柵や電柵等を設置している。被害が出ればすぐに対応できる体制ができている。シカの出現が増えてきたのが問題である。					
捕獲対策								
集落には狩猟者が1名だけで、捕獲体制としては不十分である。新たな狩猟者の確保や有害鳥獣捕獲等の計画的実施を進める必要がある。								
集落環境対策								
(農)グリーンファーム畑を中心として地元が協力しながら集落環境整備を進めていく。耕作放棄地も含め、圃場整備の要望がある。								



井上雅央先生を招き現地対策を点検した

地元集会所において鳥獣害対策についてディスカッション

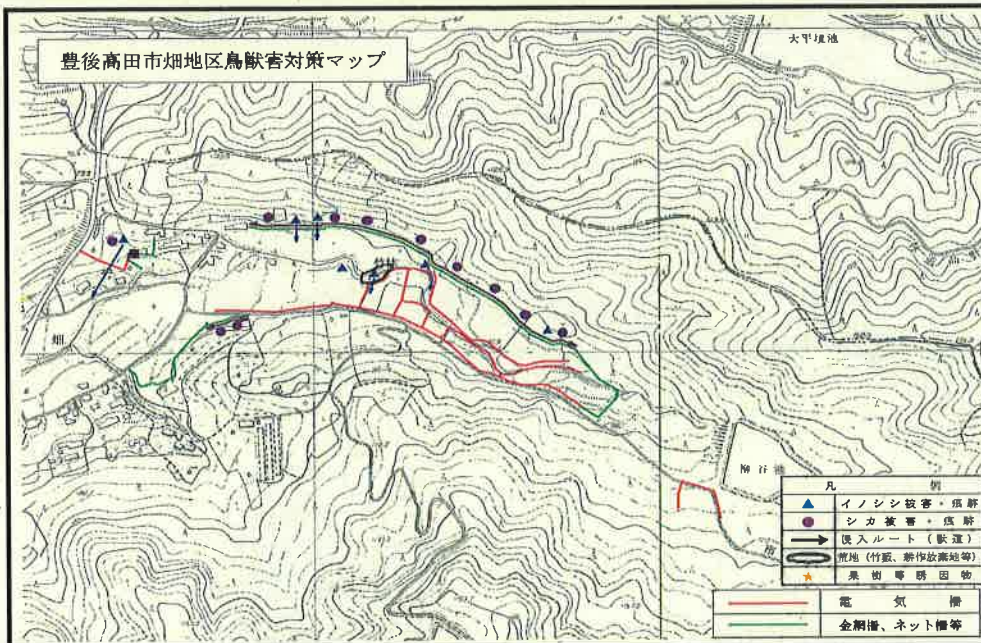


## 実 績

- H24. 8. 16 井上雅央先生を招き現地対策点検の実施
- H24. 10中 金網柵見回り
- H24. 11上 金網柵周りの除草
- H24. 12. 上 金網柵見回り

## 集落住民の声

- ・イノシシ・シカの被害は深刻な問題
- ・(農)グリーンファーム畑と連携しながら進めていく
- ・耕作放棄地等の問題が残っている
- ・金網柵、ネット柵の地際の下草刈り作業が難しくて問題



集落点検地区(一部抜粋)

# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

⑬別府市内竈地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			32戸	22戸	7ha	米	
			集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置
			無	無	○	減	有
			予防対策				米
・H23鳥獣被害防止総合対策交付金事業(金網柵2, 400m)							
捕獲対策 ・有害鳥獣捕獲により捕獲 ・狩猟免許の取得促進							
集落環境対策 ・ヤブの刈り払い刈り払い、耕作放棄地の解消 ・金網柵の点検、補修							



実 績	
8月23日	第1回PT現地調査 ・「重点地区」の内容説明 ・過去の取組みについて聞き取り ・市+県+住民で金網柵の設置状況見回り
10月15日	別府市・振興局担当者被害調査 ・水稻の被害状況聞き取り調査
12月7日	県鳥獣被害対策本部長(副知事)現地調査 ・地元住民からの聞き取り ・金網柵の管理状況、イノシシの侵入箇所を確認して、予防対策等について検討
3月8日	第2回PT現地調査 (予定) ・被害点検マップの提示 ・今後の取組等について意見交換


## 集落住民の声

- ・電気柵から金網柵に変えて、効果は出たが、同じ箇所から何度も侵入された。
- ・金網柵の補修・補強により、被害が減った。
- ・内竈地区は、市街化調整区域内にあり、農業に対する補助金は全く無く、耕作放棄地も点在し、棚田の維持管理が難しい。田植えは、外部から体験研修を受け入れている。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

⑬杵築市石丸地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			70	30	23ha	米・WCS用稲・飼料	
			集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置
			営農集団活動	3	○	減	有
			<b>予防対策</b>				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・H22 ワイヤメッシュ柵設置 (個人対応)</li> <li>・H23鳥獣被害防止総合対策交付金事業 (ワイヤメッシュ柵 4,240m)</li> <li>・H24鳥獣被害防止総合対策交付金事業(ワイヤメッシュ柵3,978m)</li> </ul>				
			<b>捕獲対策</b>				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・狩猟免許取得者(わな 3人 銃 0人)</li> </ul>				
			<b>集落環境対策</b>				
			ヤブの草刈り、里山の整備				

		8月29日 現地調査	<b>実 績</b>	
			8月29日 1回現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトチームの役割、東部地域の鳥獣被害等の現状</li> <li>・集落の取組み経過、H24の取組みについて</li> <li>・ワイヤメッシュ柵の現地調査</li> </ul>
		9月中旬	獣害対策啓発資料の全戸配付	
		10月2・5日	2回現地調査	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落の被害聞きとり、圃場の点検活動</li> </ul>	
		12月 5日	3回現地調査	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・その後の被害状況聞きとり(被害なし)</li> <li>・被害状況・対策の必要性への周知のため地区内回覧</li> </ul>	
			資料作成・回覧	

**集落住民の声**

- ・広範囲な防護柵の設置を行い被害は減少したが、今後は柵の見回り・除草などの管理の継続が重要である。防護柵別に耕作者や地権者の協力をもとめ管理体制を整備する。
- ・混住化地区のため、非農家にも獣害対策への理解を求めることが重要である。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

② 日出町法花寺地区	加害獣	イノシシ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			44	10	6.3ha	水稻、かんしょ	
			集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置
			無	無	○	減	有
予防対策			・H23鳥獣被害防止総合対策事業 (ワイヤメッシュ柵2; 962m)				
捕獲対策			・わな免許の取得促進(30~40才代2名)				
集落環境対策			・ヤブの刈り払い、追い払い ・金網柵の点検、補修				



PT第1回

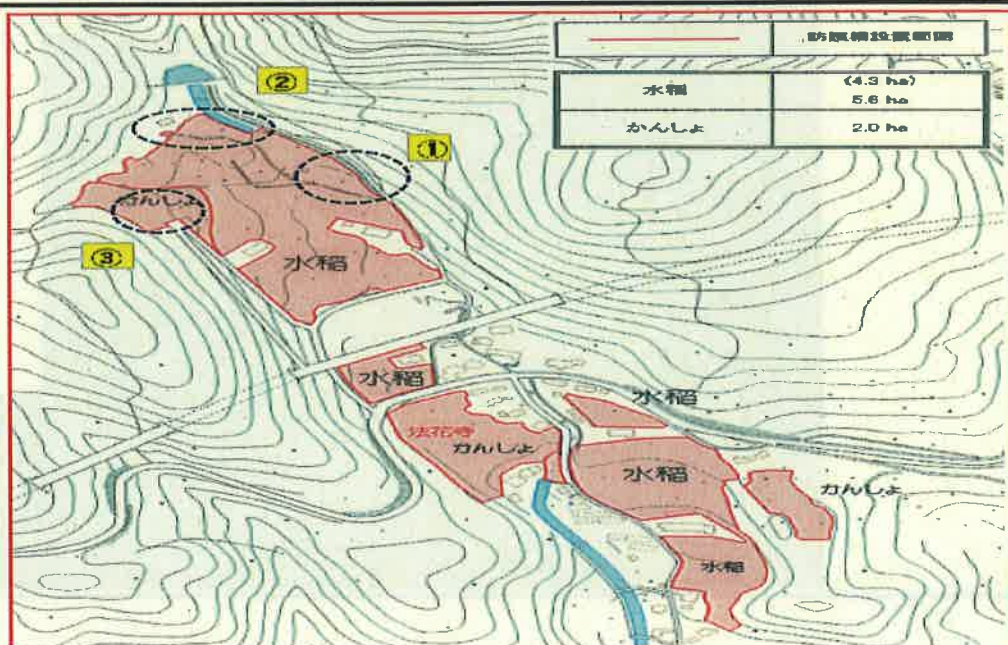


PT第2回

実 績	
8月30日	第1回PT現地調査 ・「重点地区」の内容説明 ・過去の取組みについて聞き取り ・情報交換 ・金網柵の設置状況の見回り
10月5日	第2回PT現地調査 ・状況見回り ・イノシシの侵入箇所……3箇所 ・地域住民からの聞き取り
10月28日	現地研修 ・柵の点検等
3月8日	第3回PT現地調査(予定) ・被害点検マップの提示 ・今後の取組等について意見交換

### 集落住民の声

- ・点検、見回り等集落ぐるみで行動している。おかげで、被害は減少し、稲作、かんしょ等の生産意欲が出てきている。
- ・集落内の鳥獣害に対する意識や知識の向上が図られている。
- ・PTチームのおかげで、猟友会メンバーとの接点ができ、くりわなを設置してもらい、捕獲ができて良かった。
- ・柵を張ったからといって、安心できないことがわかった。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

②由布市幸野地区	加害獣	イノシシ、シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			21	15	11.0	水稲	
			集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置
			無	3	整備中	激減	H23
			予防対策				
捕獲対策					幸野地区は猟友会員が数名いるため、有害鳥獣捕獲等については、素早い対応ができる。今後は柵周辺部でのワナ等による有害鳥獣捕獲を強化していくこととしてい		
集落環境対策					中山間直接支払組合を母体とし、年数回の定期的な柵点検等を計画するなど、集落全体で鳥獣被害に即対応できる体制を整えつつある。		



普及指導専門員による現地検討の実施

集落代表者に対するの獣害対策研修会

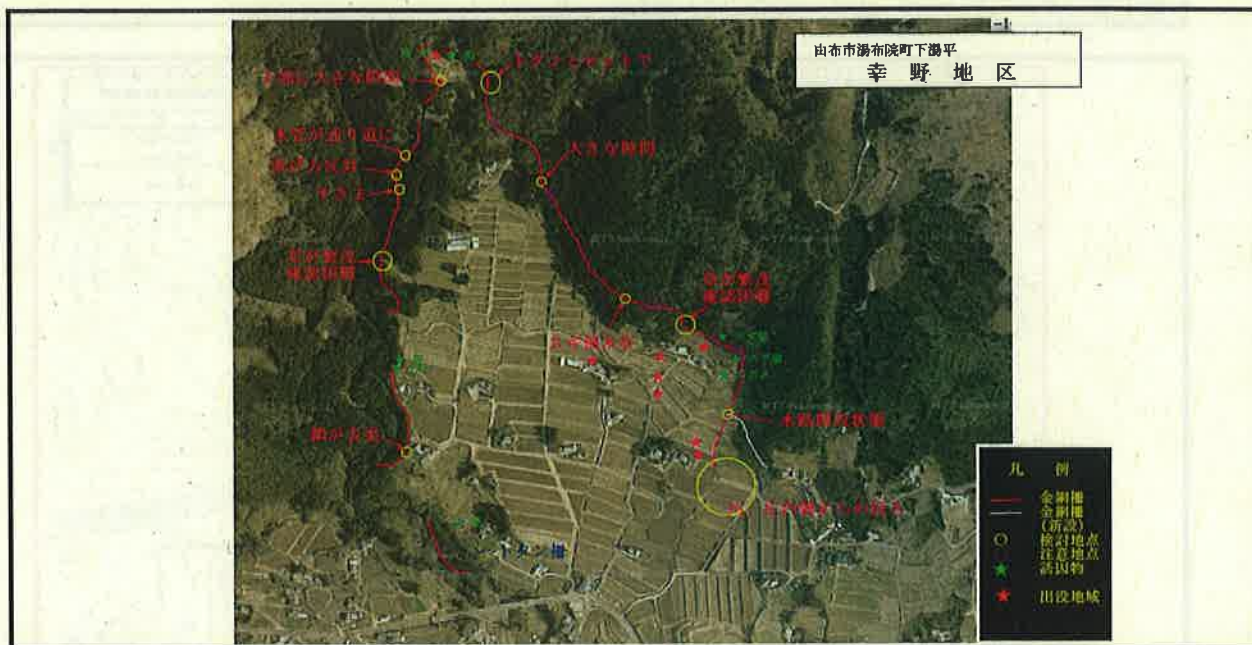


## 実 績

- H24. 6. 5 由布市職員と幸野地区指導方針の検討実施
- H24. 6. 7 幸野地区鳥獣害防止柵設置状況点検活動
- H24. 7. 4 幸野地区鳥獣害防止柵設置状況点検活動
- H24. 9. 26 鳥獣害対策専門普及指導員による現地検討
- H24. 10. 3 由布市鳥獣害防止対策協議会において幸野地区の活動について簡単に説明
- H24. 10. 25 幸野地区鳥獣被害状況確認調査
- H24. 10. 30 幸野地区代表者との鳥獣害対策研修会の開催
- H24. 11. 30 小風副知事による現地視察会の実施

## 集落住民の声

- ・柵を設置したことにより鳥獣被害が激減した。
- ・中山間直接支払組合の人たちが中心に集落の人たちが出来ることを協力し合って取り組みを行った。
- ・設置は苦勞したが、最初に設置位置を十分検討することで無駄な労力を費やす事なく効率的に施工できた。
- ・県の職員が見回りに来るのはいいが、きちんと代表に連絡してから集落に立ち入って欲しい。





# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

②白杵市平野地区 	加害獣	イノシシ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			18	18	10.5	甘藷、水稻	
	集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置		
	無	無	未	設置後無	H23		
	予防対策		平成23年度に交付金事業で金網柵を設置(延長6,300m)。平成24年度には農地・水保全管理支払交付金を受け管理・修繕に充てる。				
捕獲対策		H24に金網柵の外側に沿って箱ワナを設置し、これまで周辺に害を及ぼしていたであろうイノシシを捕獲した。					
集落環境対策							



**実 績**

平成24年7月に公民館にて地元の方、中部局、白杵市で被害対策や柵の管理等について座談会を行った。


平成24年9月に森との共生室鳥獣害対策指導員2名と中部局職員とで柵の設置状況の確認を行った。

平成24年11月1日に戦う集落の実施地区として取り組む平野地区に小風副知事が激励に訪れる。地区で取り組んでいる方々10数名が集まり、設置状況の確認と意見交換を行った。地区の方からは、柵の設置後は被害はほとんどみられない、これからも柵の保全にみんなで取り組みたいとのことであった。

H24に有害鳥獣捕獲班員である市の職員が金網柵の外側に沿って箱ワナを設置し、これまで周辺に害を及ぼしていたであろうイノシシを捕獲した。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

②津久見市千怒地区 	加害獣	サル、イノシシ シカ、アナグマ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			100	30	11	柑橘類	
	集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置		
	無	2名	有	減	H22,23,24		
	予防対策		・交付金による防護柵の設置(H22～H24 22,894m) ・サル用防護柵「猿落君」の設置				
捕獲対策		・サルパトロール隊による巡回サル駆除 ・サル用囲いわなによる捕獲のための検討会 ・シカ捕獲のための誘導柵(500m)及びワナ設置					
集落環境対策							

 	実 績	
	H24.5.31 「戦う集落」意見交換会 H24.8.7 サル用囲いわな、捕獲検討会 H24.12.11 防護柵等集落点検 H24.11.29 「猿落君」設置作業 H25.1.29 シカ誘導柵設置作業	
		今年度、戦う集落として予防対策、捕獲対策のほか、地域住民と市職員、振興局職員との意見交換などの取り組みを行った結果、下記のとおり成果が得られた。 ・意見交換会の開催や「猿落君」、シカ誘導柵の設置に集落の住民が参加することによって、鳥獣被害防止に対する認識、関心度が高まった。 ・サルに対する被害防止の取り組みや、サルパトロール隊の巡回などにより、住民がサルの姿をみるとすぐに役場に通報するなど、サルに対する意識が高まった。 ・既設の防護柵の管理を適切に行う事により、シカ、イノシシの被害は激減した。

**集落住民の声**

- ・防護柵を広い範囲で設置することができたのでイノシシ、シカによる農業被害は激減している。
- ・シカの防護ネットを張ることにより、今まで食害を恐れてできなかった果樹の苗の新植ができた。
- ・サルパトロール隊のおかげかサルの姿を見る頻度が減ったように思う。



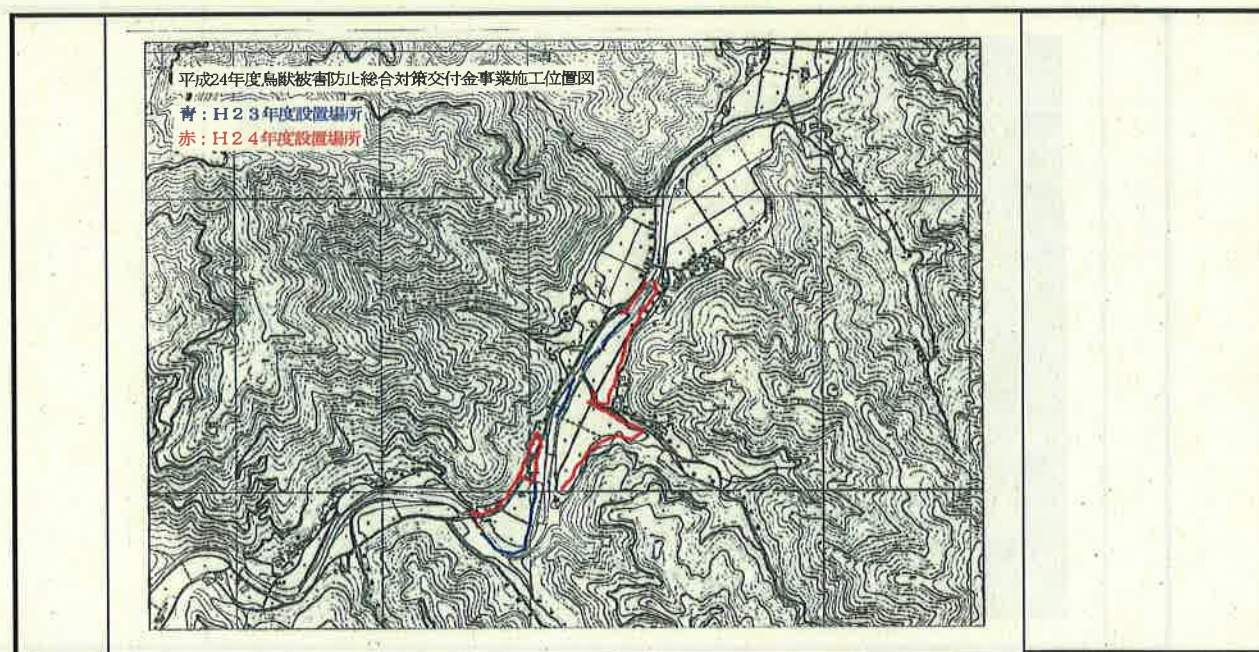
# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

⑭佐伯市黒沢地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			14	11	9	水稻・家庭菜園	
	集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置		
	無	0	実施	減	H23～H24設置		
	予防対策		・鳥獣被害防止総合対策交付金事業にて金網柵設置 (H23～H24度事業 延長2,470m) ・鳥獣害と戦う集落支援事業(誘導捕獲柵L=1,000m)				
	捕獲対策		・猟友会青山支部に重点捕獲を依頼 イノシシ: 28頭 シカ : 203頭				
	集落環境対策		・緩衝帯の設置や水田周辺の草刈りを実施				


	実 績	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年11月17日 第1回集落会議開催 (8名参加)</li> <li>平成25年3月22日 第2回集落会議開催予定</li> <li>平成24年11月20日 第1回集落点検実施(4名参加)</li> <li>平成24年12月14日 第2回集落点検実施(4名参加)</li> <li>平成25年1月17日 第3回集落点検実施(3名参加)</li> <li>平成25年2月8日 第4回集落点検実施(4名参加)</li> <li>平成25年3月22日 第5回集落点検実施予定</li> </ul>	



**集落住民の声**

- ・念願の金網柵の設置ができて、大変助かる。今まで個人単位で柵の設置をしていたがその労力軽減になる。
- ・柵周辺や集落の環境改善を今後も定期的に実施する。
- ・若い人に狩猟免許の取得をするよう進めたい。地区としても協力する。



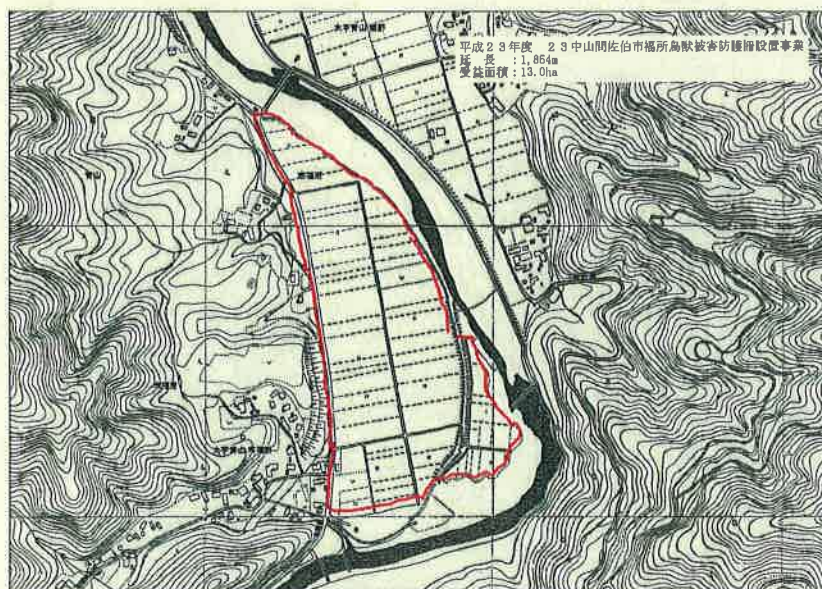
# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

②⑤佐伯市市福所地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			26	12	12.1	水稻	
	集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置		
	無	0	実施	減	H24設置		
	予防対策						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間事業にて金網柵設置（延長:1, 854m）</li> </ul>						
捕獲対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・猟友会堅田支部に重点捕獲を依頼</li> </ul>							
イノシシ: 61頭							
シカ : 389頭							
集落環境対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落内の耕作放棄地や河川敷の草刈りを実施</li> </ul>							

	実 績	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年8月21日 第1回集落会議開催(12名参加)</li> <li>・平成25年3月22日 第2回集落会議開催予定</li> <li>・平成24年8月24日 第1回集落点検実施(8名参加)</li> <li>・平成24年9月24日 第2回集落点検実施(5名参加)</li> <li>・平成24年10月3日 第3回集落点検実施(5名参加)</li> <li>・平成24年11月15日 第4回集落点検実施(5名参加)</li> <li>・平成24年12月10日 第5回集落点検実施(6名参加)</li> <li>・平成25年1月17日 第6回集落点検実施(4名参加)</li> <li>・平成25年2月19日 第7回集落点検実施(4名参加)</li> </ul>	
		

## 集落住民の声


- ・金網柵の設置で、獣害が減ってありがたい。
- ・集落の環境改善を行わないと、いくら柵で囲っても被害が減らないことが今回解った。
- ・柵をしても管理が重要。今後は、見回りを頻繁に行う。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

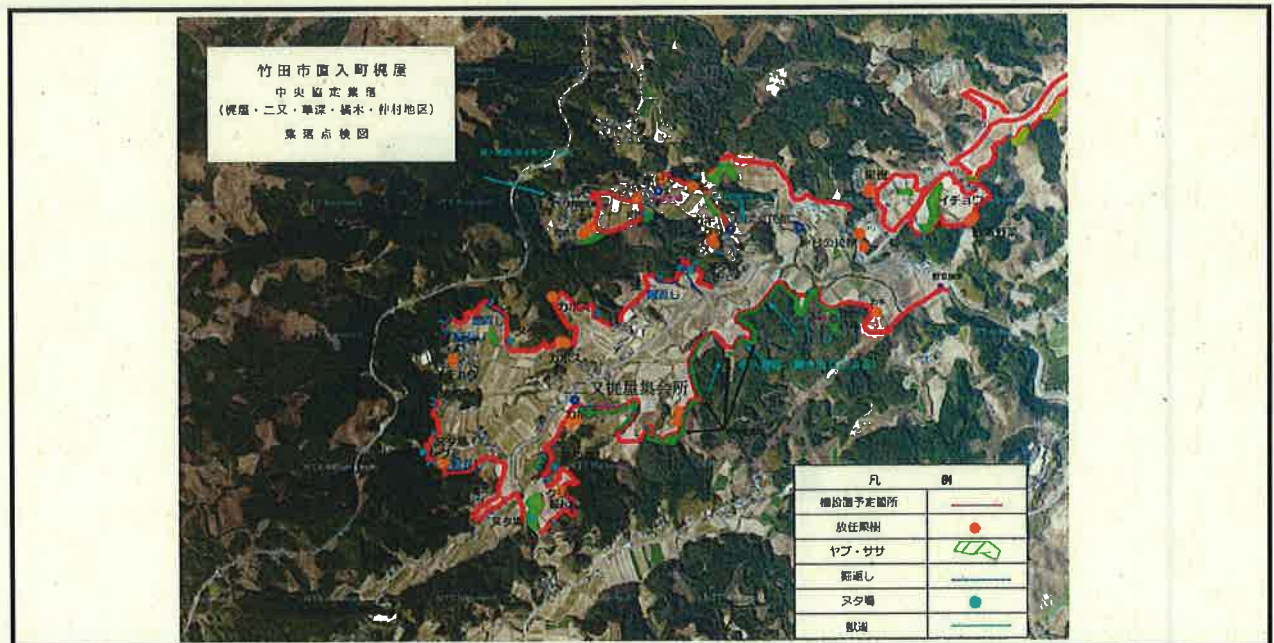
平成24年度重点地区指定

②竹田市梶屋地区	加害獣	イノシシ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			101	80	76	米・飼料作物	
			集落営農有	狩猟者3	環境対策実施	被害の推移	柵設置
			予防対策			やや減	H10年頃
			・金網柵の設置 (H24～25 16km)				
			捕獲対策				
			・集落内狩猟者による捕獲 ・地元猟友会との連携確認				
			集落環境対策				
			・ヤブの刈払い ・柵の管理道の設置				

	<p>6月4日 現地確認及び聞き取り</p> <p>11月21日 勉強会及び現地検討会 害獣の生態と集落環境対策 柵の効果的な設置及び管理について説明</p> <p>11月下旬 ヤブの刈払い実施</p>


**集落住民の声**



- ・勉強会では、柵の管理の大切さが改めて分かった。電気柵の高さの意味を初めて知った。
- ・先進地視察では、集落を上げての取組にとっても励まされた。柵は管理が大切だと実感した。また、視察先での対応が素晴らしく感動した。自分たちも頑張ろうと思った。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

②豊後大野市中野地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			14	9	23.4ha	米・大麦・大豆	
	集落営農有	狩猟者	環境対策実施	被害の推移	柵設置	H14年頃	
	2			やや減			
	予防対策						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落営農法人により、電気柵を購入・設置(約500m)</li> <li>・H14年ごろ設置した高さ1.2mの金網柵に、シカ対策として、ネット及びワイヤーメッシュによる嵩上を行った</li> </ul>						
捕獲対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・わな猟免許を新規に取得(1名)</li> <li>・侵入経路にくくりわなを設置し、集落加害獣の捕獲を行った</li> </ul>							
集落環境対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤブの刈り払い</li> <li>・山中の柵(H14分)の管理道を設置</li> </ul>							

	実 績	
	4月16日	集落点検および勉強会の実施 聞き取りによると、H23において法人の水田は100%収穫不能 勉強会では、イノシシ・シカの生態および電気柵の効果的な設置・管理について説明
	5月～	電気柵の設置 ヤブの刈り払い
	9月15日	わな猟免許を新規に1名取得 7月豪雨により壊れた金網柵からシカが侵入していたため、付近にくくりわな設置 2月末時点で累計7頭捕獲
	2月下旬	春先のシカ対策として、金網柵のかさ上げを行った


## 集落住民の声



- ・ 昨年は法人の水田はまったく収穫できなかったが、今年は収穫できた。
- ・ 以前設置した柵の破られた箇所周辺にわなを設置して、ずいぶんシカを捕獲することができた。一度捕ると暫く獣はやってこないのので、今後もこのやり方で捕獲していきたい。



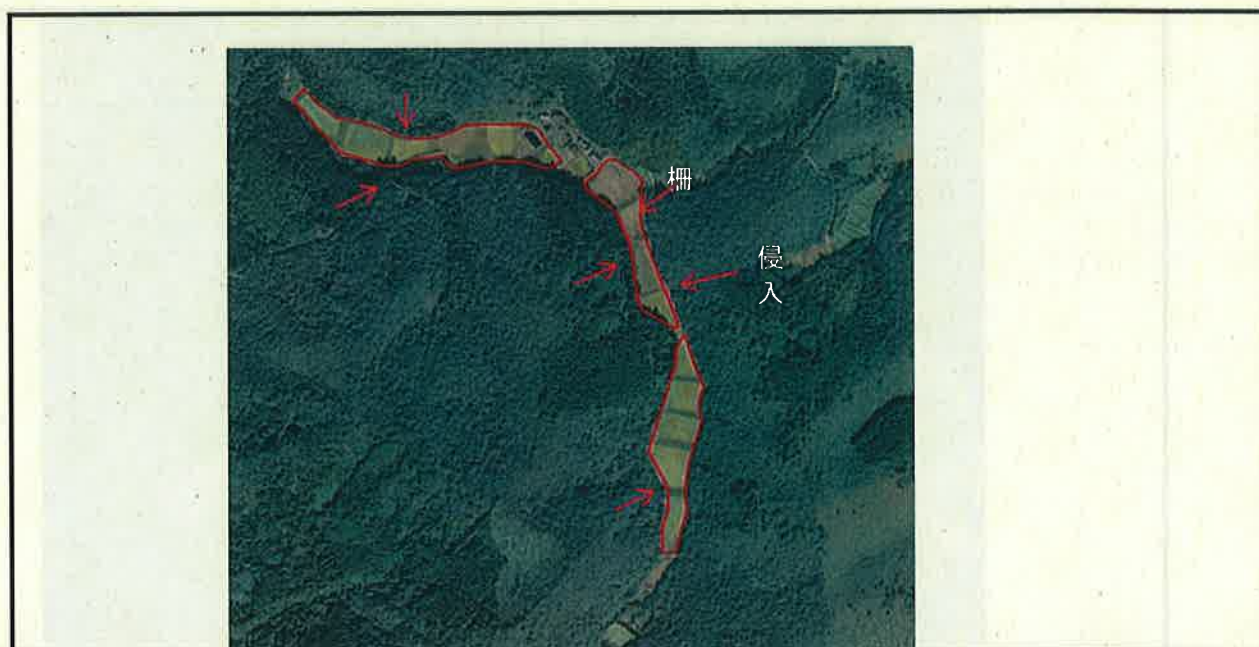
# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

⑳ 玖珠町倉ヶ峠地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			5	5	2.9	水稻	
	集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置		
	無	1名	実施済み	大幅に減少	H23設置		
	予防対策						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国の交付金を活用し、金網柵を設置。</li> <li>• 金網柵の管理方法等の研修会を実施。</li> </ul>						
捕獲対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 箱わなの設置場所等の研修会、狩猟免許試験の周知を行い、取得促進。</li> </ul>							
集落環境対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 金網柵の設置場所の草刈り、周辺の不用木等の除去</li> </ul>							


	実 績	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• H24. 7. 6豪雨災害により柵50mが被害を受ける。H25年度に復旧の予定</li> <li>• H24. 7~8柵周辺の草刈り</li> <li>• H24. 10. 2集落点検活動</li> <li>• H24. 10. 3防護柵の適切な管理研修会</li> <li>• H25. 1. 21集落点検活動</li> </ul>	
		

**集落住民の声**  
 柵の下方部分の隙間のところから、ウリボーが入っていたので、その部分に電気柵を設置したら入らなくなった。柵を設置して被害は激減した。アライグマの足跡が確認された。これが繁殖すれば大変である。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

⑳玖珠町小場地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			8	8	3.5	水稲	
			集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置
			無	無	実施済	横ばい	未設置
			予防対策				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>•国の交付金を活用し、金網柵を設置。</li> <li>•金網柵の管理方法等の研修会を実施。</li> </ul>				
			捕獲対策				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>•箱わなの設置場所等の研修会、狩猟免許試験の周知を行い、取得促進。</li> </ul>				
			集落環境対策				
			周辺部の藪の刈り払い、不用木の除去				

	実 績	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>•H24. 8. 31集落の点検活動</li> <li>•H24. 10. 2集落の点検活動</li> <li>•H24. 10. 4鳥獣被害対策研修会の開催</li> <li>•H24. 10. 24シカ誘導柵の設置場所の確認</li> <li>•H25. 2. 25誘導柵資材搬入及び藪の刈り払い</li> </ul>	
		

**集落住民の声**  
 限界集落で草刈り等も大変である。H24年度は予算の関係から金網柵の設置ができなかったがH25年度には実施してもらいたい。振興局が藪の刈り払いを手伝ってくれて助かった。





# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

⑩九重町柿ノ木原地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			13	13	8.5	水稻・トマト・飼料作物	
			集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置
			無	1名	実施	無	H23設置
			予防対策				
<ul style="list-style-type: none"> <li>•国の交付金を活用し、金網柵を設置。</li> <li>•金網柵の管理方法等の研修会を実施。</li> </ul>							
捕獲対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>•箱わなの設置場所等の研修会、狩猟免許試験の周知を行い、取得促進。</li> </ul>							
集落環境対策							
藪の刈り払い							



		実 績	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>•H24. 10. 2集落点検活動</li> <li>•H24. 10. 10副知事集落点検及び意見交換会</li> <li>•H24. 10. 11柵の適切な管理研修会</li> <li>•H24. 1. 15中山間地域総合整備事業で実施する1, 670mの柵の設置指導</li> <li>•H25. 1. 21集落点検活動</li> <li>•H25. 2竹藪の伐採</li> </ul>	


### 集落住民の声

H24年度に隣接地の柵を設置してもらい、柵張りは終了した。日出生台演習場からシカ等が出没するので、その対策を検討してもらいたい。



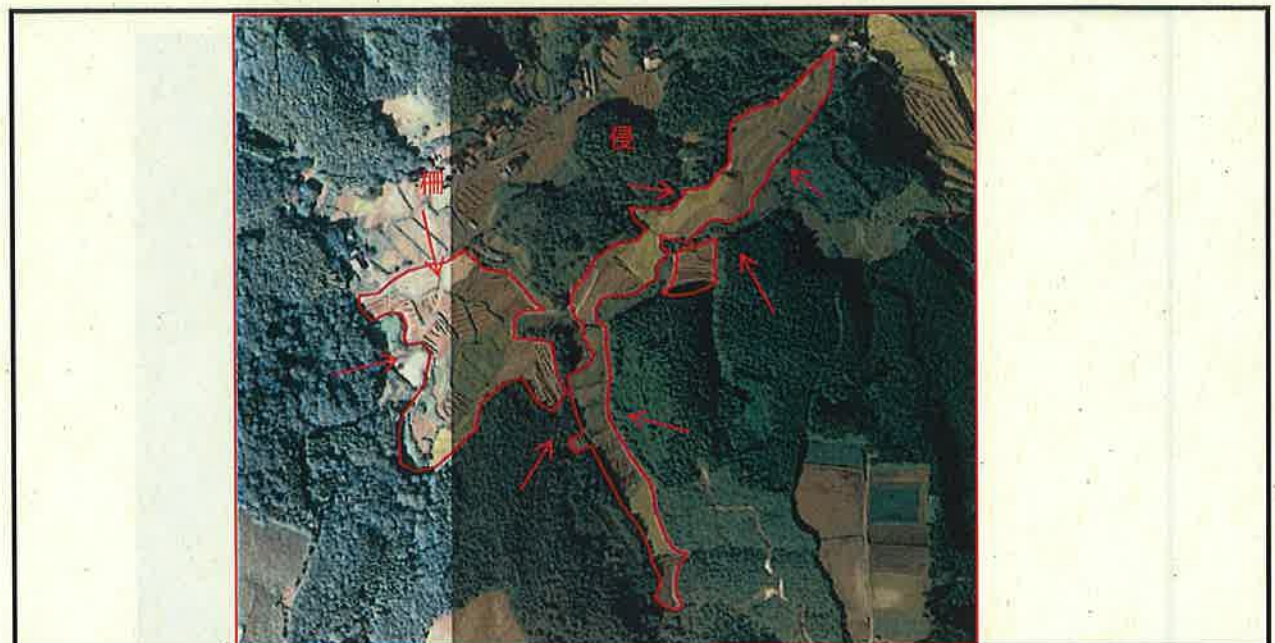
# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

③九重町田代地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			10	10	6.0	水稻	
	集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置		
	無	1	実施	横ばい	H24設置		
	予防対策						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の交付金を活用し、金網柵を設置。</li> <li>金網柵の管理方法等の研修会を実施。</li> </ul>						
捕獲対策							
<ul style="list-style-type: none"> <li>箱わなの設置場所等の研修会、狩猟免許試験の周知を行い、取得促進。</li> </ul>							
集落環境対策							
耕作放棄地の藪の刈り払い							

	実 績	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24. 8. 17わな免許の取得を文書で依頼</li> <li>・H24. 8. 31集落点検活動</li> <li>・H24. 9. 26鳥獣被害対策研修会の開催</li> <li>・H24. 9. 27狩猟免許取得に向けた勉強会の開催</li> <li>・わな猟狩猟免許新規取得者 1名。</li> <li>・H24. 10. 2集落点検活動</li> <li>・H24. 10. 10副知事集落点検及び意見交換会</li> <li>・H24. 12. 6防護柵設置開始(延長3,290m)</li> <li>・H25. 1. 21集落点検活動</li> <li>・H25. 2柵設置完了</li> </ul>	
		


**集落住民の声**  
柵が完了したので、被害の出ないように管理をしっかりしていきたい。隣接地が未実施なので、その被害が心配される。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

②中津市小袋地区	加害獣	イノシシ シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目			
			51	51	39.6	米、麦、大豆、野菜			
			集落営農有	狩猟者3	環境対策有	被害の推移-	柵設置済		
			予防対策					11月～3月までに金網柵を設置した。	
			捕獲対策					集落の有害鳥獣捕獲員が捕獲活動を行った。	
集落環境対策					小袋集落鳥獣被害対策協議会を設立。防護柵の管理等を行う				

 <p>防護柵設置事業説明会</p>	<p>実績</p> <p>8月30日 14:30～ 防護柵事業説明会 耶馬溪支所3階大会議室</p> <p>9月3日 19:00～ 防護柵事業設置説明会 小袋公民館</p> <p>9月5日 9:00～ 現地点検調査</p> <p>9月10日 9:00～ 集落点検(マップ作成) 小袋集落一円</p> <p>11月9日 19:00～ 集落勉強会</p> <p>12月～3月 防護柵設置</p>

**集落住民の声**


研修会、集落点検では鳥獣害のことをいろいろ勉強できた。



防護柵については、管理が大事。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

③中津市上福土地区	加害獣	イノシシ シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			14	14	14.03	米	
	村落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置		
	無	3	有	-	済		
	<b>予防対策</b> 平成18年度にイノシシ対策で高さ1mのワイヤーメッシュを5,000mに施行したことにより、イノシシの進入が制限され被害が減少したが、最近シカがワイヤーメッシュを越えてシカ被害が増加中のため、防護柵を再整備。						
	<b>捕獲対策</b> 集落の有害鳥獣捕獲員が捕獲活動を行った。						
<b>村落環境対策</b> 上福土集落鳥獣被害対策協議会を設立。防護柵の管理等を行う							

	集落点検	<b>実 績</b>	
		8月30日 14:30～ 耶馬溪支所3階大会議室	防護柵事業説明会
		9月20日 13:30～ 上福土集落一円	集落点検(マップ作成)
		12月～3月	防護柵設置
マップ作成 		3月	報告会の開催

**集落住民の声**



研修会、集落点検では鳥獣害のことをいろいろ勉強できた。  
防護柵については、管理が大事。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

⑭中津市倉谷地区	加害獣	イノシシ シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目
			7	7	6.8	米
	集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置	
	無	1	有	-	済	
	予防対策					
	12月からワイヤーメッシュ柵を設置					
捕獲対策						
集落の有害鳥獣捕獲員が捕獲活動を行った。						
集落環境対策						
倉谷集落鳥獣被害対策協議会を設立。防護柵の管理等を行う						

	集落点検	実 績	
		8月30日 14:30～ 耶馬溪支所3階大会議室	防護柵事業説明会
マップ作成		9月6日 14:00～ 倉谷集落一円	集落点検(マップ作成)
		12月～3月	防護柵設置
		3月	報告会の開催


**集落住民の声**



研修会、集落点検では鳥獣害のことをいろいろ勉強できた。  
防護柵については、管理が大事。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

⑤豊後高田市来縄雲林地区	加害獣	シカ・イノシシ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			27	11	26.9	水稻・そば・麦	
			集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置
			有	2人	無	減	H20・21
			<b>予防対策</b> 近畿中国四国農業研究センター井上先生を講師に迎え集落点検を行い、改善点を検証し防護柵の設置箇所での指導を受けたい。				
			<b>捕獲対策</b> 捕獲対策として、狩猟免許取得の促進を行ったが新規取得者は得られなかった、今後も引き続き免許取得者の促進を図る				
			<b>集落環境対策</b>				


	井上先生を招いた現地対策点検	<b>実 績</b>	
		H24. 8. 16	井上雅央先生を招き現地対策点検
		H24. 10中	金網柵見回り
		H24. 11上	金網柵周りの除草
		H24. 12上	金網柵見回り
	弾ポールを利用した安価な電気柵の設置方法	H21・22で金網柵L=2,000m設置	



<b>集落住民の声</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イノシシ・シカの被害は深刻な問題</li> <li>・金網柵の地際の草刈り作業が困難</li> </ul>



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

⑨豊後高田市上香々地地区	加害獣	シカ・イノシシ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			10	10	13.2	水稻・そば	
	集落営農有	狩猟者3人	環境対策有	被害の推移減	柵設置	H24	
	予防対策						
	近畿中国四国農業研究センター井上先生を講師に迎え集落点検を行い、改善点を検証し防護柵の設置箇所での指導を受けワイヤーメッシュを設置したい。						
	捕獲対策						
捕獲対策として、狩猟免許取得の促進を行い1名の取得者が得られた、今後も引き続き免許取得者の促進を図る							
集落環境対策							
佐古営農組合と地域が中山間直接支払を利用して実施							

	井上先生を招いた現地対策点検	実 績	
		H24. 8. 16	井上雅央先生を招き現地対策点検
	ワイヤーメッシュ設置完了	H24. 9. 25	鳥獣対策協議会よりワイヤーメッシュ搬入
		H24. 11中	ワイヤーメッシュ設置箇所草刈り
		H24. 12	設置箇所へ資材持込
		H25. 1中	ワイヤーメッシュ設置完了


**集落住民の声**



- ・イノシシ・シカの被害は深刻な問題
- ・上香々地営農組合が主体となり、地区民と一緒に対策を行う。
- ・ワイヤーメッシュの地際の草刈り作業が困難



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

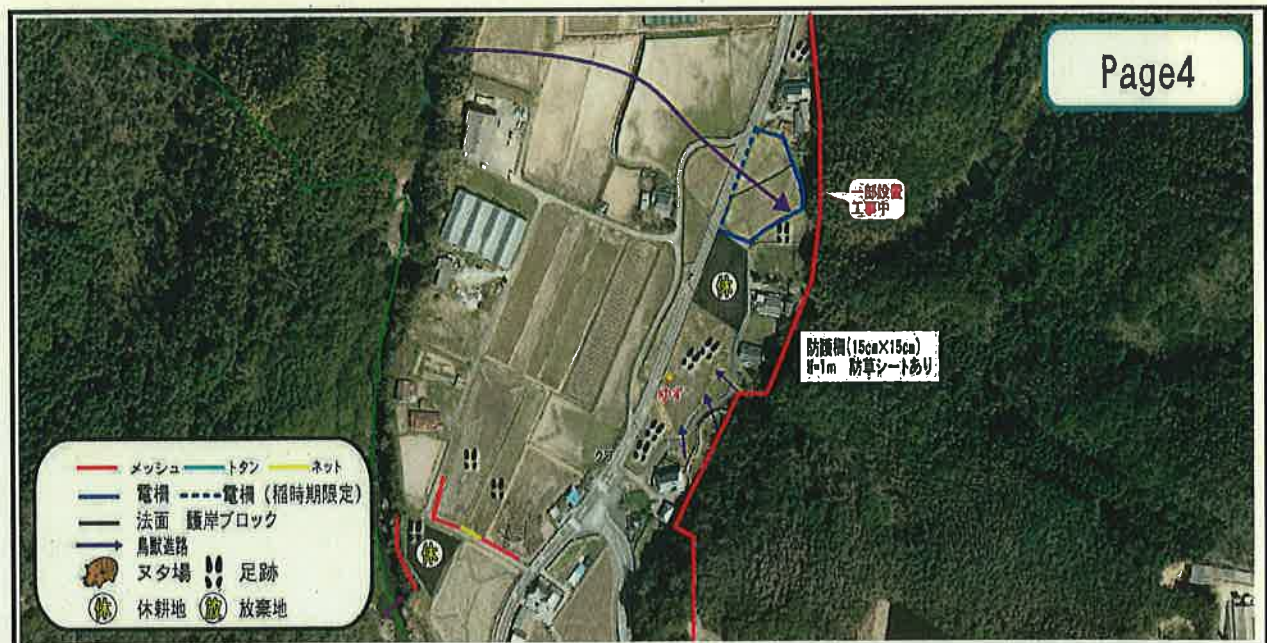
平成24年度重点地区指定

③7宇佐市納持地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目
			23	14	13.68	水稻
			集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移
			無	0	無	減
			柵設置	H23		
			予防対策	集落点検マップを基に被害箇所・侵入経路等確認		
			捕獲対策	猟友会による捕獲を実施		
			集落環境対策	院内地区まちづくり協議会を通じて、冬場の餌となるヒコバエのすき込みチラシの配布。		

		被害防止現地研修会 演題：鳥獣害対策 講師：木村誠治	<p style="text-align: center;">実 績</p> <p>H24. 5.10 院内地区まちづくり協議会参加 鳥獣害対策についての説明</p> <p>H24.11.06 院内地区まちづくり協議会参加 ヒコバエ対策チラシ配布</p> <p>H24.11.15 鳥獣被害防止対策現地研修会 鳥獣害対策講演会・箱わな実演</p> <p>H24.11.25 鳥獣害対策現地検討会 鳥獣の特徴講演・集落点検マップ確認</p>
		被害防止現地研修会 箱わな実演 講師：須崎昇	

**集落住民の声**


- ・集落点検マップにより被害箇所、進入路等が良く分かった。
- ・防護柵の見廻り管理等、個人ではなく集落全体での対策が必要。
- ・集落点検をお願いしたい。
- ・柵の維持・管理について理解できた。







# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

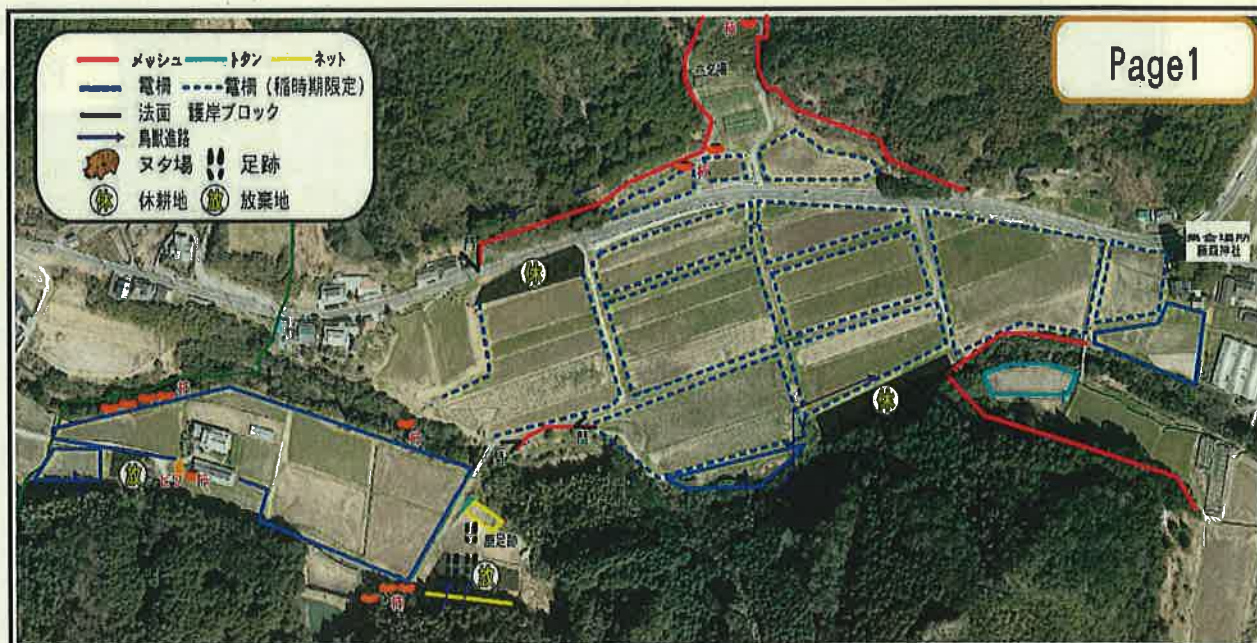
平成24年度重点地区指定

③宇佐市斉藤地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目
			22	12	7.43	水稻
	集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置	
	無	2	無	減	H16	
予防対策						
集落点検マップを基に被害箇所・侵入経路等確認						
捕獲対策						
猟友会による捕獲を実施						
集落環境対策						
院内地区まちづくり協議会を通じて、冬場の貴重な餌になるヒコバエのすき込みチラシの配布。						

	被害防止現地研修会 演題:鳥獣害対策 講師:木村誠治	実 績
		
H24. 5.10 院内地区まちづくり協議会参加 鳥獣害対策についての説明		
H24.11.06 院内地区まちづくり協議会参加 ヒコバエ対策チラシ配布		
H24.11.15 鳥獣被害防止対策現地研修会 鳥獣害対策講演会・箱わな実演		
H24.12.08 鳥獣害対策現地検討会 鳥獣の特徴講演・集落点検マップ確認		
H25. 1.12 柵設置後の集落点検		


**集落住民の声**



- ・集落点検マップにより被害箇所、進入路等が良く分かった。
- ・防護柵の見廻り管理等、個人ではなく集落全体での対策が必要。
- ・設置してる柵の点検に来てもらいたい。
- ・イノシシの隠れ場所になりそうな竹藪、エサになりそうな柿、ミカンは伐採を行った。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

③宇佐市了戒地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			25	14	7.61	水稻	
			集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置
			無	2	無	減	H13
							
予防対策 集落点検マップを基に被害箇所・侵入経路等確認							
捕獲対策 猟友会による捕獲を実施							
集落環境対策 院内地区まちづくり協議会を通じて、冬場の貴重な餌になるヒコバエのすき込みチラシの配布。							

		実 績
	被害防止現地研修会 演題：鳥獣害対策 講師：木村誠治	H24. 5.10 院内地区まちづくり協議会参加 鳥獣害対策についての説明 H24.11.06 院内地区まちづくり協議会参加 ヒコバエ対策チラシ配布 H24.11.15 鳥獣被害防止対策現地研修会 鳥獣害対策講演会・箱わな実演 H24.11.21 鳥獣害対策現地検討会 鳥獣の特徴講演・集落点検マップ確認 H24.12.27 鳥獣害対策用ネット柵試験設置
		


## 集落住民の声



- ・集落点検マップにより被害箇所、進入路等が良く分かった。
- ・防護柵の見廻り管理等、個人ではなく集落全体での対策が必要。
- ・柵の維持・管理について理解できた。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

④宇佐市月俣下地区 	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目
			16	9	10.07	水稲
	集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置	
	無	2	無	減	H19	
	予防対策	集落点検マップを基に被害箇所・侵入経路等確認				
捕獲対策	猟友会による捕獲を実施					
集落環境対策	院内地区まちづくり協議会を通じて、冬場の貴重な餌になるヒコバエのすき込みチラシの配布。					

	被害防止現地研修会 演題:鳥獣害対策 講師:木村誠治	実 績  H24. 5.10 院内地区まちづくり協議会参加 鳥獣害対策についての説明 H24.11.06 院内地区まちづくり協議会参加 ヒコバエ対策チラシ配布 H24.11.15 鳥獣被害防止対策現地研修会 鳥獣害対策講演会・箱わな実演 H24.12.11 鳥獣害対策現地検討会 鳥獣の特徴講演・集落点検マップ確認
		

**集落住民の声**

- ・集落点検マップにより被害箇所、進入路等が良く分かった。
- ・防護柵の見廻り管理等、個人ではなく集落全体での対策が必要。
- ・集落点検の要望有。
- ・防護柵の破損について、地元集落自ら補修を行った。



# 鳥獣被害現地対策本部選定重点地区活動実績

平成24年度重点地区指定

④宇佐市月俣上地区	加害獣	イノシシ・シカ	戸数	農家戸数	耕地面積	作目	
			17	13	6.12	水稻	
			集落営農	狩猟者	環境対策	被害の推移	柵設置
			無	2	無	減	H20
予防対策			集落点検マップを基に被害箇所・侵入経路等確認				
捕獲対策			猟友会による捕獲を実施				
集落環境対策			院内地区まちづくり協議会を通じて、冬場の貴重な餌になるヒコバエのすき込みチラシの配布。				



被害防止現地研修会  
演題:鳥獣害対策  
講師:木村誠治



被害防止現地研修会  
箱わな実演  
講師:須崎昇

## 実 績

- H24. 5.10 院内地区まちづくり協議会参加  
鳥獣害対策についての説明
- H24.11.06 院内地区まちづくり協議会参加  
ヒコバエ対策チラシ配布
- H24.11.15 鳥獣被害防止対策現地研修会  
鳥獣害対策講演会・箱わな実演
- H24.12.11 鳥獣害対策現地検討会  
鳥獣の特徴講演・集落点検マップ確認

## 集落住民の声

- ・集落点検マップにより被害箇所、進入路等が良く分かった。
- ・防護柵の見廻り管理等、個人ではなく集落全体での対策が必要。
- ・集落点検の要望有
- ・防護柵の破損について、地元集落自ら補修を行った。

Page2

